

中部大学幸友会 会報2012

幸友

特集 Special Feature

スペシャル座談会

インドシナ諸国の 経済状況と ビジネスチャンス

ふらっと美術館めぐり
古川美術館

おとなの健康塾
ウォークと検診で健康長寿を

VOL.15



22号館西館

〈目次〉

02 ニュース

CAMPUS NEWS

03 特別対談

幸友会が目指すべき未来

中部大学幸友会 名誉会長、学校法人中部大学 理事長、総長 飯吉厚夫
中部大学幸友会 会長、春日井商工会議所 会頭、
東洋電機株式会社 代表取締役 会長 松尾 隆徳

05 特集

スペシャル座談会

インドシナ諸国の経済状況とビジネスチャンス

流通科学大学 教授、(社)日本ベトナム経済交流センター 副理事長 上田 義朗氏
丸菱工業株式会社 代表取締役社長 河村 嘉希氏
中部大学 学監、中部大学幸友会 事務局 長 三浦 昌夫
中部大学 副学長、中部大学幸友会 理事 小野 桂之介

13 インタビュー

企業人の格言

名古屋トヨペット株式会社 代表取締役社長 小栗 一朗氏
大岡技研株式会社 代表取締役社長 大岡 三茂氏

15 ふらつと美術館めぐり

古川美術館

17 講演報告

企業経営講演会

文筆家 元「週刊朝日」編集長 川村 二郎氏
(株)水戸理化ガラス、(株)ミラス、(株)ヒロツランニング 代表取締役社長 平沼 博氏

19 暮らしのエッセイ

太陽へ旅する

フリーライター 岡本 信也

21 シーズ紹介

研究室訪問

中部大学 生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 教授 近藤 孝晴
中部大学 応用生物学部 応用生物化学科 教授 大西 素子
中部大学 工学部 都市建設工学科 准教授 武田 誠
中部大学 国際関係学部 国際関係学科 准教授 野田 真里

大学院教育学研究科がスタート。

平成24年4月に、中部大学6番目の大学院として「教育学研究科教育学専攻(修士課程)」がスタートしました。教育学研究科は、「教育学・保育学」、「教育心理学」、「教科教育学」の3つの領域を基盤とし、基幹科目として11科目、専門科目として12科目を配置。これらの科目を通じて、研究的実践者としての幼稚園・小学校教員並びに高度専門職業人としての指導的な保育士を育成するとともに、教育学研究を次世代に継承する教員及び研究を目指す大学院生を育成することを目標としています。

3つの領域



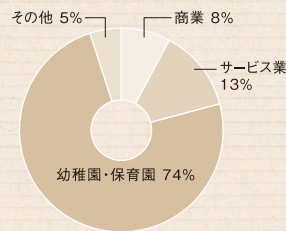
現代教育学部が初めて卒業生を輩出。

本学7番目の学部、現代教育学部が、今年3月に初めての卒業生を社会に送り出し、そのうち約60名が、保育・教育現場(保育園・幼稚園・小学校・特別支援学校)で活躍しています。本学部では、これからも子ども一人ひとりの心に寄り添い、ともに歩んでいける、同僚や保護者、社会からも信頼される教育専門家を養成していきます。

幼稚・保育園教員

28名

(幼児教育学科就職状況)
就職内定率※100%

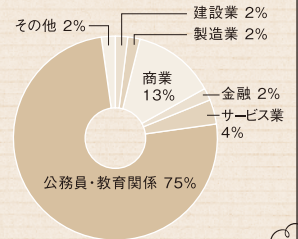


小学校教員

(特別支援学校含む)

31名

(児童教育学科就職状況)
就職内定率※98.1%



※就職希望者に対する就職者の割合

- 25 おとなの健康塾
- ウオークと検診で健康長寿を
- 中部大学 生命健康科学部 理学療法学科教授 沖高司
- 27 本棚から社会を見る
- その言葉、相手に伝わっていますか？
- 中部大学 現代教育学部 児童教育学科教授 豊田ひさき
- 30 会員企業紹介
- 幸友会会員企業を訪ねて
- 株式会社関ヶ原製作所 西川 雅敏さん
- フルハシPPO株式会社 石黒 有美さん
- 東濃鉄道株式会社 居田 隼人さん
- 33 就職レポート2012
- 学生と企業を結びつけることが、大学の使命。
- 35 総会報告
- 第24期中部大学幸友会総会報告
- 37 総会講演ダイジェスト
- 環境エネルギー問題とこれからの産業
- 中部大学教授 武田 邦彦
- 39 レポート
- 幸友会講座ダイジェスト
- 40 ニュース
- 中部大学ビジネススクール(経営学修士課程)
- MOT型MBA
- 41 寄稿
- メンバーズサロン
- 43 イベントレポート
- 中部大学フェア2012
- 45 お知らせ
- イベントのご案内 & TOPICS

幸友会が 目指すべき未来

〔日時〕平成24年9月25日(火) 〔場所〕洞雲亭(中部大学茶室)



会員企業約760社、個人会員約440名と

一大組織に成長した「中部大学幸友会」。

昨年新たに幸友会会長に就任した春日井商工会議所の松尾会頭と、同じく中部大学理事長に就任された飯吉先生との対談をおこない、

幸友会の今後の方向性や可能性を探りました。

〈写真左〉
中部大学幸友会 会長
春日井商工会議所 会頭
東洋電機株式会社 代表取締役会長
まつお たかのり

松尾 隆徳

〈写真右〉
中部大学幸友会 名誉会長
学校法人中部大学 理事長・総長
いいよし あつお

飯吉 厚夫

飯吉 本日はお越しいただきましてありがとうございます。まずは約1年半を振り返っていかがでしょうか。

松尾 ささまざまな行事に参加して、中部大学の幅と奥行きがとても広いことを痛感いたしました。一方で、商工会議所という立場では、中部大学は地元春日井の財産であり、この地に居ていただけることはとてもありがたいことです。また私自身、大学は敷居が高い場所と思っていましたが、産学連携で関わりを持たせていただくようになり、今ではどんだん門が開かれ、気軽にお伺いできるような感じになっています。私だけでなく、きつと地元の皆さんもそんな想いを持たれていることでしょうか。先日、中国の同済大学と中部大学の交流訪問団の一行が、まちづくりの実状見学として勝川の夏祭りに参加してくれたことは地元としても大変喜ばしいことでした。

飯吉 中部大学を評価した

お言葉をいただき、ありがとうございます。確かに本学は今まさに変わりつつある、上昇気流に乗っている大学です。私が学長になった13年前はまだ4学部体制で学生数は7,722名でしたが、

今は7学部29学科、学生数の意味での総合大学になってきました。また、産学連携の一つのベースとなる幸友会に理解をいただくとともに、これだけ大きく成長した応援団体を持つている大学は恐らく日本全国探してもなかなかないと思います。この幸友会も、もともと文化的交流から始まりましたが、最近では、共同研究や学生の就職支援などに膨らんできました。

松尾 そうですね、今後は産業の拡大も頭打ちで、今までのように雇用も右肩上がりではないか、学生の就職はますます厳しくなるでしょう。そういつたときに、幸友会という組織や仕組みが非常に強みになると思います。ただ

お互いに甘えてはいけません。我々企業は、入社した

新入社員をしっかりと育てていく。一方大学では、学力と同時に、世の中を生き抜くための強さやバイタリティを育成していただく。これは我々企業の欲かもしれないが、双方が連携し、幸友会と人材の育成をしていくような形ができればいいと思います。

飯吉 確かにこれからの学生には学力プラス「人間力」と言いますか、たくましさや粘り強さが不可欠です。人間力は教科書では勉強できません。むしろ広く社会へ出かけて行って切磋琢磨すること、企業へのインターンシップも二つですが、大学も社会で学んでいくチャンスを拡大しなくてはならないと思っています。さらに私どもには中学校と高校の併設校がありますから、一貫教育で人間力をつけていくことを重点的に実践したいと思っています。学園で統一した建学の精神を持つているわけですから、本当

の意味での一貫教育ができるはずですよ。

松尾 建学の精神である「不言実行」はいろんな理解の仕方があると思いますが、私は、心に秘めたる思いの実現に向かって、一人ひとりが孤軍奮闘でも頑張り抜く、最後の頼りは自分の力だと、おそらく創立者の三浦先生がそういう気持ちで訴えられたのかなと思うのです。

飯吉 不言実行の意味は、考える時間をしっかりと持ち、これだというものに勇気を持って実践していくことです。これからの時代にはとても大事なことです。そういう意味では時代にマッチした建学の精神を本学園も持っていると言えるかもしれません。先ほどの話に少し戻りますが、私が教鞭をとっていた頃、企業の方から「学生には、読み書きそろばんを教えておいてくれれば、あとは我々企業が教育するから」とよく言われました。しかし最近では「人間力が大事」だと。昔の

ように基礎だけを身につけさせておいてほしいとは言われなくなりましたね。

松尾 そうですね、昨今では社員一人ひとりに負荷をかけるのをえない状況があります。ただ、お互い重い荷物を背負っている者同士が協力し合いながら成果を出そうとすると、そこで結び付けるものは、最終的にはお互いの「人間性」、平

たく言えば信頼関係です。この人なら信頼できるということと、ここで結束力が生まれて仕事を成し遂げられる、そういうケースが増えていますね。

飯吉 大学も少子化により、学生を増やしていくことは難しくなっています。しかし今、団塊の世代の



方々、中でもあの当時学ぶことができず、もう一度勉強したいと思っている方が多いとすれば、そのような社会人向けの大学院もあってもよいと思っっているのです。

松尾 レベルが違うかもしれませんが、カルチャースクールなどの講座をもう少し系統だてた形で、大学で開講されればニーズはあると思います。

す。私も大学からさまざまな行事のご案内をいただいで参加していますが、あの雰囲気はいいですね。鶴舞の名古屋キャンパスで開催される企業経営講演会も、中身は非常に濃く、面白いですし、もっと勉強しなければいけないという気持ちにもなります。

飯吉 幸友会の皆様からこのようにご意見を聞きながら、新しい方向性を見つけていければと思います。それこそ今後は、退職されても法人会員企業のご出身であれば、幸友会の行事に参加いただけるような同窓会があってもよいかもしれません。

松尾 幸友会も組織が大きいの一度には難しいですが、まず業界ごとに接点を作り上げていく、そしてお互いの課題の共同解決を図っていくことで、もう少し広い意味でのつながりを持てると思います。

スペシャル座談会

インドシナ諸国の 経済状況と ビジネスチャンス

生産拠点と消費市場の両面から
大きな期待を集めているインドシナ諸国。
今回は、ベトナムビジネスの權威、上田義朗氏と、
既にベトナムへ進出されている、
幸友会会員企業の丸菱工業様を迎えて、
メコン川流域4カ国の
投資市場情勢や進出における体験談、
さらに大学が目指すべき人材育成の
あり方についてお話しいただきました。

（2012年10月8日名古屋東急ホテルにて。）



中部大学 学監
中部大学幸友会 事務局長

三浦 昌夫

[幸友会会員企業]
丸菱工業株式会社 代表取締役社長
MARUBISHI SUMMIT INDUSTRY
VIETNAM CO.,LTD(MSV)CEO

河村 嘉希氏

流通科学大学 教授
(社)日本ベトナム経済交流センター 副理事長

上田 義朗氏

[司会]
中部大学 副学長
中部大学幸友会 理事

小野 桂之介

第1章

インドシナ諸国の
最近の動向と
高い潜在成長力

小野 日本経済を取り巻く環境変化の中、企業は絶えず事業のあり方を変革していかなばなりません。特に各種メーカーは、空洞化を心配しながらも海外進出を果たしてきました。過去10数年間、進出の中心は中国でしたが、カントリールリスクの高まりや人件費の高騰などから、最近では次の展開として東南アジア、中でもインドシナ諸国に脚光が当てられています。そこで本日は、この地域への理解を深めるとともに、日本企業はどのようにビジネス展開をしていけばよいか、またそのためにどんな人材を育てていく必要があるかなどを語り合っていきたいと思います。まずは、上田先生からこの地域の認識しておくべき内容についてお話し願います。

上田 ASEAN諸国のうち、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム

の4カ国を、国名の頭文字をとって「CLMV」と言います。これは、ASEAN諸国の中でも、後発ASEANを表す言葉としてよく使われます。ASEAN全体の発展、またこの4カ国の経済的な成長のため、日本政府だけではなく、アジア開発銀行やIMFなどの国際的な金融機関もCLMVを支援しています。その代表的な二つが、インドシナ半島を縦横に結ぶ経済回廊、道路インフラです。そういう点で、チャイナプラスワンはベトナム、最近ではミャンマーなどと言われますが、物流インフラの発展とともに、この4カ国が一体化して相互関係を深めながら発展していくという見方が賢明です。アジアの経済成長のデータを見ても、中国、インドに次いでこの4カ国が成長率の高い国として入ってくるように、今後この地域に注目して間違いありません。特にミャンマーは、アメリカの経済制裁も一部緩和されて、日本の円借款再開の動きもあり、投資ブームが起っています。西欧諸国の援助や投資が増加すれば、まさに4カ国が非常に大きな成長の潜在力を持つてい

るという見方ができます。

小野 人口規模や所得水準、資源、宗教面などについてはいかがでしょうか。

上田 主な基礎データは表の通りですが、ラオスは金や銅の鉱物資源に恵まれ、水力発電でも安定的に外貨を得ています。東南アジアのバッテリーと言われるほど水力発電による電力供給が大きく、タイやベトナムへ電力を輸出しています。一人あたりのGDPもベトナムの次で1,000ドルを超えています。一方ベトナムは、労働力が豊富で、資源も十分にあり、米の輸出国でもあります。ミャンマーは石油や天然ガス、鉱物資源が豊富で、カンボジアも海底油田があります。親日度は4カ国とも高いですね。特にモノづくり企業の皆様の関心は、現地での投資環境だと思えますが、ベトナム、カンボジアには日本の商社を中心とした日系の工業団地、経済特区があり、安心して生産に集中できます。ミャンマーも新しい経済特区に日本のODAも入られて、日本企業を受け入れています。賃金的には、ミャンマーが一番安く、カンボジア、ラオスの順で、ベトナムは毎

■メコン地域4カ国 (CLMV) の基礎データ (2010年)

	首都	面積 (km ²)	人口 (万人)	言語	宗教	1人当たり 名目国内総生産 (米ドル)	使用通貨
 カンボジア	プノンペン	181,035	1,443	クメール語	仏教 (96.4%)	813.80	リエル
 ラオス	ビエンチャン	236,800	644	ラオス語	仏教 (90.0%)	1,003.71	キップ
 ミャンマー	ネピドー	678,500	6,119	ミャンマー語	仏教 (89.0%)	742.44	チャット
 ベトナム	ハノイ	331,690	8,826	ベトナム語	仏教 (80.0%)	1,173.55	ドン

出所：国際機関日本アセアンセンター「ASEAN-日本統計集2011」より抜粋。

年10%くらい上がっています。それでも中国の半分か、3分の2程度ですからコスト的にもまだ充分魅力はあります。宗教は、ベトナムだけが日本と同じ大乘仏教で、ほかの3カ国は戒律の厳しい上座部仏教ですが、タイと似ていると思っいいでしょう。インドネシアのイスラム教のような宗教的な対立を心配する必要はありません。カンボジアもフン・セン首相になつて10年以上、長期政権が続いて安定しています。

小野 急な発展により港が飽和状態になることもあります。港湾のキャパシティについてはどうですか。

上田 ベトナムは4カ国の中で先に市場経済化を進めたこともあり一番恵まれていると思います。特にサイゴン港からの輸送費は、近隣の港と比べるとかなり安い。カンボジアの工業団地の商品もここから出荷されているほどです。さらに日本のODAも入り、ホーチミン近郊に大きな船が入れる港がもうすぐスタートします。カントリーリスク、馴染みやすさ、信頼度など総合して考えてもベトナムは魅力があります。

第2章

ベトナム進出で 見えた国民性と ビジネス習慣

小野 では次に、ベトナム進出の経緯を河村様からお願いします。

河村 当社は、三菱自動車向けのシートや内装品を製造しています。その厳しいコスト競争の中で生き残っていくためにベトナムホーチミンへ進出、まもなく10年になります。ベトナムでは、シートのカバーの裁断と縫製をしています。当初、中国やタイへの進出も検討しましたが、コストメリットを最重点に置いたとき、その当時、中国の約10分の1、日本の20分の1以下の賃金で雇えましたので、中国へ出るよりベトナムを選択しました。インドネシアは航路がベトナムより長くなりますし、カンボジアやラオスも当時はまだ工業に適している状況ではないと判断しての決定でした。

小野 ご苦労された点がありますか。

河村 日本からベトナムへ見学に来

られると「ベトナム人は勤勉ですね」と皆さんがおっしゃいます。確かに勤勉ですが、日本的な考え方を教えるのは大変でした。製造の工程を教え

ても、次第に、順序を勝手に変えてしまいます。「なぜそうするのか？」と聞くと「こつちの方がやりやすいから」と言う。結果、不具合が出ますよね。でも私は悪いことはしていないと言う。習慣や風土、何もかもが違うので仕方ありません。日本企業で働いているからではなく、これは日本に納めなくてはならないものだから日本と同じ品質で作る必要がある。そのためにはこの順序で作らなければいけないということを日々教えるんです。3、4年くらい要しました。ただ、ベトナム人は学習しようとする気質は高いです。また、仕事量が少なくなると、転職を考え始めます。暇

成長の潜在力を持ち、
一体化して発展していく「CLMV」。



うえだ よしあき
上田 義朗氏
流通科学大学 教授
(社)日本ベトナム経済交流センター
副理事長

1955年大阪生まれ。1983年神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程・満期退学。同年(財)日本証券経済研究所大阪研究所・研究員。1988年流通科学大学商学部助教授、その後教授。1999年日本ベトナム経済交流センター顧問、その後副理事長。

でも給料はもらえるのに、仕事に就いている以上、仕事をしたいんです。そういう意味では勤勉であることに間違いありません。でも途中で辞めてしまう人もいます。その当時ベトナム進出が盛んで、ホーチミンにどんな企業が増えました。すると必然的に起こるのが賃金の上昇です。人を探るために給料を上げなくてはなりません。時給10円の差で他社へ変わります。それが一人ではなく、友人合わせて10数人ごそつと辞めていくのです。

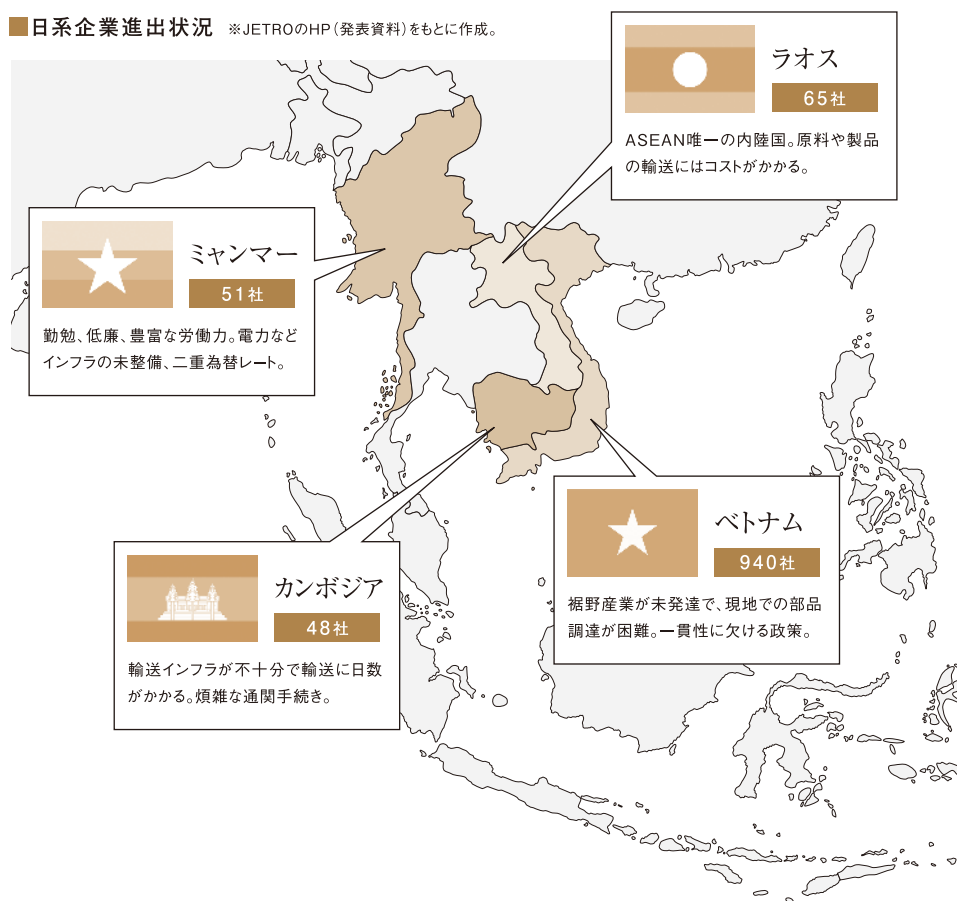
小野 今でもそういった問題が？
河村 今は以前に比べてさらに安く
ていいものを作らなければならぬ。安
め、人を定着させることに重点を置
いています。そのためにはGDPに比
例して給料を毎年上げなければなら
ませんし、ベトナムの習慣で、給料は
1年で13カ月分を支払わなければな
りません。旧正月に、ボーナスとして



上田 ホーチミンやハノイで人手不
足による賃金上昇が起こる一方、いま
ベトナムの地方都市は企業誘致に熱
心です。ビンディン省というダナンか
ら少し南にある、工業団地もある人
口160万人くらいの省もその一つ。
この省はクイニオン港もあり、内陸部
への移動よりも物流コストは安いの

必ず1カ月分を支給しな
ければならないのです。ま
た、従業員とのコミュニケーション
シジョンを図ることとして社
長でも昼食は従業員と同
じ弁当を食べます。慰安
旅行や忘・新年会もおこ
ないです。新年会ではラッ
キードローと呼ばれるく
じをするのですが、賞品は
雑貨からテレビ、洗濯機、
日本製のカメラ、資生堂の
化粧品などさまざまもの
を用意します。そのとき
に高級な賞品は誰でもも
らえるわけではなく、入
社5年以上の者だけがも
らえるようになります。そ

■日系企業進出状況 ※JETROのHP(発表資料)をもとに作成。



で、こういう場所に第二工場をつくることは非常に大きな可能性が
あります。経済的に恵まれない地域へ進
出する企業には、政府も税金の優遇
措置を取っています。ある程度の技
術を蓄えた中間管理職やリーダーが

育っている場合は、他国へ出るよりも、
同じベトナムの地方都市に行くのも一
つの考え方だと思っています。
河村 そうですね。ベトナム中部に
ダラットという高原地域がありますが、
その界限であれば、今後開かれる港

コストメリットを最重要視すると 今のミャンマーには進出できない。



かわむら よしき
河村 嘉希氏
丸菱工業株式会社 代表取締役社長
MARUBISHI SUMMIT INDUSTRY
VIETNAM CO.,LTD.(MSV) CEO

幸友会会員企業

丸菱工業株式会社

自動車用シートメーカーとして、昭和39年に創業。世界的車種「パジェロ」のシートを初代より100%のシェアで生産し、多様な車種のシートも手がける。安全、快適、高品質な製品の開発・製造に取り組んでいる。

河村 国の政策が

コロツと変わります。当時、会社設立の際、私どもは株式を持ってませんでした。しかも日本の独資100%は当時認められておらず、我々はタイの企業と外資100%の合弁で組みました。その後、4年ほど前に会社法が変わり、

によって運ぶ距離が縮まるので、幾分やりやすくなると思います。グラットは唯一の高原地帯で、農業が盛んで、日本の農業関係も進出しています。都心部からは離れたところで小さな工業団地もつくりつつあります。ベトナムも北と南は飽和状態になってきて、どんどん内陸に行くしかない状況になっています。

小野 国民性や従業員の定着性、賃金の上昇についてお話しいただきましたが、人材以外で想定外なことはありませんでしたか。

自己資本100%の外資も認められるようになりました。すると、すべての外資企業が、新会社法に基づいて申請を求めます。役所はパンク状態です。申請が終わるまでに1年半かかりました。また、税関も人によって対応が変わります。我々は部材を輸入していますから、物流会社を通して、手続きをして所定の時間に取りに行きます。でももらえない。彼らもサボっているわけはありません。制度が変わると、役所人もその変化についていけないのです。ただ結果的に、し

わ寄せが企業に来ます。それを解決するための手段として各企業でさまざまな工夫と対応をしています。

上田 日本の常識からすると大変だと思われるかもしれませんが、ベトナム人の観点からすると、受益者負担なんです。それぞれの受益者が、自己負担でお金を渡すことで業務をスムーズにおこなってもらおう。ただ今後、公務員の給与引き上げとともに、そういう部分は厳しく規制され、汚職も少なくなっていくと思います。

小野 電気や水のインフラはどうですか。

河村 ベトナムはいま、大きな火力発電所を造ろうとしています。昔は突然の停電も度々ありましたから、発電機で対応していました。今は年に一度くらいですから電気の心配は以前より軽減されました。水については、縦横無尽に川が流れていて水源も豊富ですから、問題を感じていません。ホーチミンでは、道路も諸

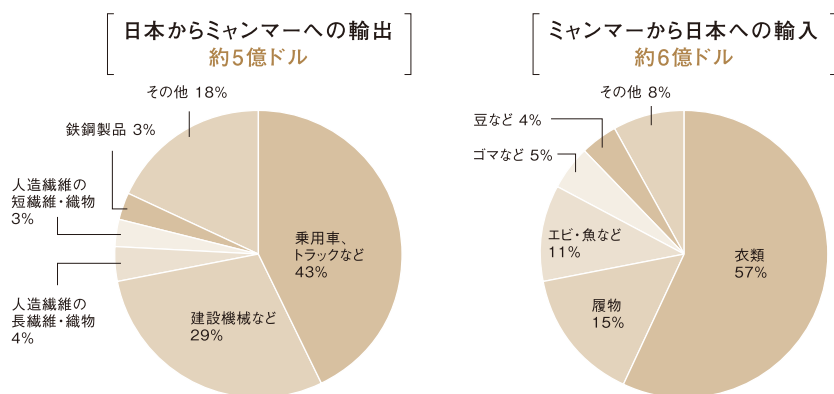
外国の力を借りてかなり良くなってきています。

小野 社会主義国であることの影響はありますか。

河村 我々は日本から材料を入れて、それを100%加工して日本へ輸出しています。人を雇い、加工し、物を売り、外貨を稼ぐという点から地場の市場を荒らさないことで、政府関係からあたたかい目で見ている



■日緬貿易は拡大基調（2011年データ） 出所：日本税関。2011年1月～12月の貿易。



だけだと思っています。
三浦 今でこそ4カ国に関心がいつていますが、以前は中国が進出の中心でした。また韓国への進出もありました。しかし、この数年間で変わってしまったわけです。いずれは4カ国においても同様なことが起きてくるでしょう。先ほど、沿岸から内陸の方へ

行く動きがありました。中国で起きた同じようなことがベトナムでも起こり、コストメリットを感じなくなるのはどれくらい先でしょうか。
河村 私の経験の感覚では、ホーチミンで遅くとも5年後には、コストメリットがなくなると見えています。ラオス、カンボジア、ミャンマーが、その頃には技術レベル的にカバーできてしまい、コスト面を見ればそういった国の方が安くなると思います。ただ、今のミャンマーに弊社の事業内容ではメリットは見出せません。物流が大変だからです。川が浅くて大型船が入りず、かなり南までおろす必要があります。でもそこまでの道路インフラが整っていません。その長い距離を通過して、船に乗せた分がどれだけ人件費で消せるのかも疑問です。さらに、あぜ道だらけで、振動に弱い精密部品など、運べないものもあると思います。ミャンマーが今後、進出してくる企業に対してどんな対策を取るのか、また、インフラがいつ整備されるかわかりませんが、それでも今のうちに進出するべきか、整備されてから出て行ったことで、時すでに遅しなの

か、それは業種と内容によって見極めなければなりません。
上田 ミャンマーは、経済的・政治的に民主化が一気に進んでいます。既に賃上げのストライキも始まっているそうです。今は賃金が安いと言われるかもしれませんが、あつという間に上がる可能性があります。為替レートも統一されましたが、実態は公式レートと実勢レートとで乖離しているとも言われています。
小野 今の話にも関わってきますが、我々は賃金が安いと、生産拠点として見てしまいがちですが、中国のようにならぬと、消費市場としての魅力もあると思います。これから需要が伸びて、日本から進出すると面白い業種などはありますでしょうか。
上田 ファミリーマートやイオンがベトナム進出を決めていますし、東

アジアの中の日本を意識して、
本当の意味での国際交流を。

みうら まさお
三浦 昌夫
中部大学 学監
中部大学幸友会 事務局長

急電鉄がホーチミンへ、京阪電鉄がハノイ周辺に進出してショッピングセンターや鉄道を造ろうとしています。カンボジアでもイオンの進出が決まっていますし、ラオスにも、中国系ですがショッピングモールがあります。それ以外でもシンガポールやマレーシアなど同じASEANの資本で、消費市場に向けて企業が進出しています。また、来週、年商10億円のベトナムのプライダル会社が、日本の結婚式場の見学と、引き出物やおみやげを探しに来ます。日本ブランド、日本製品に対して憧れや信頼がありますので、

しっかりと販売パートナーを見つけるといふことになれば、かなり販路拡大の可能性はあります。タイミンングの見極めが大事ですが、消費市場に向けて日本製品を現地で販売することとは十分に考えられます。食品であれば、江崎グリコがポッキーの販売を始めたし、早くにはエースコックがインスタントラーメンを販売しており、そこへ日清食品も参入。これからベトナムでは国内市場に向けた動きが非常に増えると思います。その波がカンボジア、ラオス、ミャンマーにも波及していくことが予想されます。

第3章

今後求められる 国際交流と 人材育成

小野 いろんな局面からお話を伺ってきましたが、日本は、この4カ国や中国も含めて、アジア全域との関係を密にしながらか生きていかなければなりません。その範囲がますます広

く深くなつていったとき、両国にとって良い関係の構築、発展を考えると、次の世代の若者たち、あるいは日本人は、どんな能力や視野を持ち、成長していくべきでしょうか。

河村 海外で確実にビジネスをしていくための常用語はやはり英語です。日本はこの国よりも英語教育が遅れています。ベトナムでも大学を卒業すれば、一般会話はできます。我々モノづくり企業が海外進出を加速させると、さらに日本は空洞化し、日本での就職先は少なくなつていくでしょう。そう考えると海外で派遣採用してもらうか、現地採用してもらうか、いずれにしても最低でも英語を話せなければなりません。あとは若いうちに、1、2カ月間でもいいので、ほかの国の文化や習慣を肌で感じることです。たとえば夏休みに海外の大学へ行くことで、その単位も日本で活かせるようなサマースクール的なことをやってみるのも面白いと思います。

三浦 大学の講義も大事ですが、語学力を身につけるには留学が一番です。これからは4カ国に対してどのよ



幸友会や産業界のサポートを得て、
時代に沿った人材教育を。



司会
おの けいのすけ
小野 桂之介
中部大学 副学長
中部大学幸友会 理事

うに本学も関わっていくかを真剣に考える必要がありますね。幸友会員企業の中には、中国に会社をつくり、インターンシップを盛んにおこない、国際交流をしている企業もあります。2カ月くらいホームステイをさせるとガラッと変わって帰ってくるそうです。そういった地についての活動をしかりやらなければいけません。本学の建学の精神にもありますが、「不言実行」、つまり行動に移すことが大事です。今提携を結んでいる諸外国の大学は、アメリカ、ヨーロッパなど多岐に渡っていますが、もっとビジネス

を見据えた本当の意味での国際交流をしていかなければなりませんね。これからはアジアの中の日本ということも考えていかなければなりません。**上田** 学生が一般的に海外へ行く場合、語学研修がほとんどですが、一つのアイデアとして、スポーツ交流があります。たとえば野球で、日本の大学とベトナムの大学とで親善試合をする。語学ができなくても、野球という共通の話題があることで、おそらく試合後の懇親会では言葉が通じなくても、片言の英語でコミュニケーションができれば、視野を広げられると思います。

河村 たとえば進級に支障をきたしそうな学生に、この留学プログラムに参加したら、単位を認めるということもあってもよいのではないのでしょうか。**三浦** 大学がある程度フレキシブルにおこなうこと

は文科省も認めていますから、たとえば夏休みに海外へ行って帰国後にレポートを書けば単位を認めるなど、大学が決めて実施していけばいいと思います。そういった活動が、入学してくる高校生にとっての魅力にもなりますから。

河村 この4カ国にとって日本へ行くことは、昔の日本のアメリカカンパニーと同じで、ジャパンドリームなんです。当社では優秀な成績を上げた社員に、日本への研修をプレゼントすると決めています。そのときに本当の日本の社会を勉強してほしいと思っています。力やお金がある人だけでなく、中堅層の人たちも行ける場を作れると、国際交流も盛んになると思います。日本は今よりも外国人の受け入れをもっと上手に広げてほしいですね。

上田 これまで日本に来る留学生は、研究目的で、日本で修士や博士を取って母国で大学の先生になるパターンがほとんどです。ただ、もっとビジネス的な要素を持った留学生、日本の企業で働きたいと思っている学生を受け入れることも大事ですね。今、ビ

ジネスや専門技術を勉強した日本語ができるベトナム人を直接採用する狙いで、現地の大学を紹介してほしいという日本企業が増えています。

小野 そういう学生のための奨学金があってもいいかもしれません。いろいろお話を伺ってきて、生産拠点としても、市場としても好条件を備えている地域で、さまざまな業種の日本企業が経済交流を深めていく可能性は非常に大きいと感じました。しかし、想定外のこともありますから、よく考え、調べ、経験者や有識者の意見も伺いながら、慎重に出て行く必要があるようです。いずれにしても日本も、現地も、いい人材のサポートが不可欠です。人材については大学の責任が重いですが、大学だけでできることには限りがありますので、幸友会をはじめとした産業界と協力し合いながら、時代に沿った人材教育をしていかなければなりません。本日はありがとうございました。

私の格言

「Nice To People
〜人に素敵を。〜」

お客様から愛される存在で
あり続けるために。

ロゴマークの「NTP」は、単に社名の「名古屋トヨベツト」を略した言葉ではありません。「Nice To People 〜人に素敵を。〜」の頭文字であり、こちらが上位概念です。この言葉が生まれたのは今から20年前のこと。父が社長だった当時、私は、事業や社員同士のコミュニケーションの在り方を見直し、新たな経営理念を制定するプロジェクトリーダーを務めていました。時はバブル崩壊後、これからは新車販売だけでなく、整備・修理をはじめ、保険、携帯電話、レジャーなど、お客様を中心に事業を広げていくべきではないか。そのためにはお客様へ、感動や喜び、素敵な出来事や経験をお届けすることが一番だと考え、「NTP」を創ったのです。

この「人に素敵を。」の「人」には、3つの意味があります。一つは「お客様」、もう一つは「地域の皆様」、3つ目は「社員と家族」です。当社では、社員の配偶者の誕生日にケーキを贈り、お子さんの小学校入学時には、ランドセルをプレゼントしています。これは家族を大切

にする創業者の祖父が残してくれた伝統の一つです。また今年、新たに始めた行事として、ハイブリッド車でサーキットを走り、規定のタイムを守りながら燃費を争う「プリウスカップ」をおこないました。運転の楽しさや、燃費を上げることの難しさを体験した社員は、この先、今まで以上に車に愛情を注いでお客様へ勧めてくれると思います。

さらに近年では、地域密着型の「町一番のくるま屋」を
目指す「まちくる活動」を展

開中。地域の皆様へ、各店舗のショールームや会議室を、フラワーアレンジメントや英会話、ヨガなどの教室として開放しています。実は、このような活動すべての軸にあるのが「NTP」、つまり、人を軸に、大きな意味での素敵をお届けすることなのです。これからも私たちの拠点である名古屋、ひいては愛知で暮らす皆様が、楽しく笑顔で豊かに過ごせるよう貢献し続けたいと思っています。



名古屋トヨベツト株式会社
代表取締役社長

小栗 一朗

小栗 一朗(おぐり かずお)氏/昭和36年愛知県名古屋生まれ。昭和60年慶應義塾大学経済学部卒業。同年、トヨタ自動車株式会社入社。平成2年名古屋トヨベツト株式会社入社。平成15年代表取締役専務就任。平成19年代表取締役副社長就任。平成21年代表取締役社長就任。平成22年NTPホールディングス株式会社代表取締役社長就任。

Interview

企業のトップが語る人生訓 Vol.6

企業人の格言

私の格

「創造的破壊と 創造的建設」

不可能を可能にすれば、
それが独自技術になる。

私が、企業経営的にも、個人の生活においても心がけていることをお話しします。私は、技術系出身で経営に疎かったこともあり、たくさん本を読んできました。中でも大切な一冊をあげるならば、ドラッカーの「創造する経営者」です。当時、この本で「創造」という言葉の重要性に気づいたものでした。

当社は創立当初、ハンマー鍛造で鉄道部品を製造し、その後、自動車産業へ進出。自動化により生産性は上がりましたが、当時は「3K」の代表的な仕事で、このままでは事業として長続きしないと判断し、フォージングプレスへ移行しました。自動車部品の中でもギアに特化した当社でしたが、大手企業と勝負するために、新たな技術の開発が求められました。それは、ミリからミクロンの世界に入っていくこと。当時は技術者全員からできるわけないと猛反対されました。社員全員が賛成すれば、どの会社でもやるのは当然。逆に技術者全員が不可能とすることは成功させれば必ずそれは独自技術になるはず。しかし、できないと言

う社員をやる気にさせることは容易ではありません。当時の技術のトップを口説き落とすのに一年半かかりました。彼も根負けしたのでしよう。「そこまで言うならやりますが、失敗しますよ」と言いました。しめたと思いましたが、技術屋が一旦やると決めれば、少しでも成功するように取り組むものです。その後度は失敗しましたが、

試行錯誤の末に
作ることがで
きました。

日本人は一度

作り上げたもの
を捨てるのが苦

手です。私が習慣づけたの

は、右か左か迷ったとき、いくら考

えてもわからなければ、まずはど

ちらかに決めて進むこと。間違

えていたらできるだけ早く退却
すればよいのです。もともと内気
だった性格の私がこのような考え
方に変わったのも、大学時代に性格を変えよ
うと苦手なことを全部やった結果、つまり自ら
を創造的破壊した結果なのです。

大岡技研株式会社
代表取締役社長

大岡 三茂

大岡 三茂(おおおか みつしげ)氏 / 昭和18年愛知県生まれ。昭和41年早稲田大学第一理工学部卒業。同年、愛知製鋼株式会社入社。昭和42年愛知製鋼株式会社退社後、株式会社大岡鍛工所(現大岡技研株式会社)入社。平成3年大岡技研株式会社代表取締役就任。平成18年株式会社オオカ商事代表取締役就任。同年、株式会社三清社取締役会長就任。

お客様のかけがえのない存在であるために、地域密着にこだわり続けるカーディーラー。

世界に通用するオンリーワン技術で、自動車用変速機歯車を製造する歯車メーカー。

ともに唯一無二の存在になることを目指して、チャレンジを続けるおふたりの経営者に、

一番大切にしている言葉をお聞きました。

慌ただしい日常にうるおいをもたらし、
新たな価値観や驚きを与えてくれるアートの世界。
時には美術館で、ゆっくりと芸術に触れる
ひとときを過ごしてみませんか？

今回は、日本の美をこころゆくまで堪能できる

古川美術館と分館の爲三郎記念館をご紹介します。



ふらっと

美術館めぐり

特別展 展示風景



再開発の鈍音響く地下鉄池下駅から、地域文化の発信地として注目される覚王山日泰寺の参道へ向かう途中、左手に見える美しい建物が古川美術館だ。ヘラルドグループの創業者として知られる古川爲三郎氏（1890～1993）が、長きに渡って収集した貴重な美術品を、広く地域に公開するために寄贈。自ら初代館長に就任して平成3年にオープンした。

戦前より収集されたコレクションは、約2,800点。近代日本画を中心に、油彩画や陶磁器、工芸品などを所蔵している。なかでも上村松園や伊藤小坡による美人画、前田青邨の人物画や花鳥画は質、量ともに豊富で、コレクションの目玉となっている。また、地元東海地方の芸術家による作品が多彩に揃っていることも、この美術館の大きな特徴と言えるだろう。

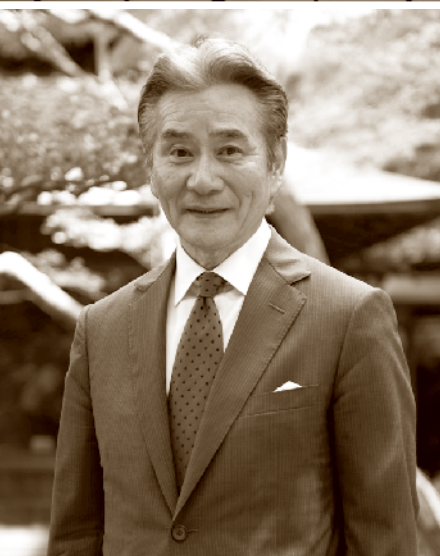
美術館運営にまだサービス精神がさほど重視されていなかった時代から、ここ古川美術館では、映像関連事業の経営で培った“おもてなしの心”をモットーに、常にお客様を丁寧に迎える姿勢を貫いてきた。

再開発の鈍音響く地下鉄池下駅から、地域文化の発信地として注目される覚王山日泰寺の参道へ向かう途中、左手に見える美しい建物が古川美術館だ。ヘラルドグループの創業者として知られる古川爲三郎氏（1890～1993）が、長きに渡って収集した貴重な美術品を、広く地域に公開するために寄贈。自ら初代館長に就任して平成3年にオープンした。

再開発の鈍音響く地下鉄池下駅から、地域文化の発信地として注目される覚王山日泰寺の参道へ向かう途中、左手に見える美しい建物が古川美術館だ。ヘラルドグループの創業者として知られる古川爲三郎氏（1890～1993）が、長きに渡って収集した貴重な美術品を、広く地域に公開するために寄贈。自ら初代館長に就任して平成3年にオープンした。

館内には、1階に第1展示室と特別展示室、2階には第2展示室とAVルームが配置されている。展示室に入ると、各展示品には、作品の説明、作家の紹介、そして子どもに向けたワークシートのボードが添えられているのが見てとれる。さらにAVルームでは、日本の美術館では初めて導入されたというハイビジョン動画による所蔵品解説が鑑賞でき、作品の理解をより深められる仕組みだ。ワークシトップやギャラリートーク、アーティストトークなどの催しも定期的に設けられており、「気軽に美術に触れてもらいたい」との思いを随所に感じる。

その思いは、分館である爲三郎記念館でも共有されている。爲三郎記念館では、古川爲三郎氏が百三歳で天寿をまっとうするまで終の棲家として愛した数寄屋造



館長 古川 爲之さん

美術に接すると、自分のなかにも
いと違う何か芽生えてくるもので
す。事業家の皆さんにこそ、ぜひ気
軽に足を運んでいただきたいです。



古川美術館特別展

女流画家 伊藤小坡の世界

平成24年10月13日(土)～12月16日(日)月曜日定休

女性の飾らない日常を切りとった小坡らしい作品を中心に、
女流画家の先駆けとしての生涯にも焦点を当てます。

分館 爲三郎記念館特別展

高北幸矢インスタレーション「落花の夢」

平成24年10月13日(土)～12月16日(日)月曜日定休

名古屋を中心に活躍するデザイナー高北幸矢が、藪椿の花を
さまざまな手法で数寄屋建築に咲かせます。



古川美術館 分館 爲三郎記念館

〒464-0066 愛知県名古屋市千種区池下町2丁目50番地

TEL:052-763-1991

<http://www.furukawa-museum.or.jp>

りの邸宅と茶室、見事な庭園を一
般公開している。チケットは、古川
美術館との共通券となっており、
美策や見学はもちろん、美術館の
展示と期間をあわせて催される
地元作家の個展を楽しめる。和
の空間とアートとの斬新なコラボ
レーションが見どころだ。
邸内には呈茶コーナーが設けら
れており、お抹茶やお菓子をいた
だきながら、ゆつくりと庭の風情
を堪能できる。ここで供されるお
菓子は、展示会のテーマにあわせ
て、その都度オーダーされる創作
和菓子とのこと。また、建築家・吉
柳満氏の手により平成8年に生
まれ変わった桜の間も見事だ。こ
ちらの壁と天井を彩るのは、千種

区出身の洋画家、田村能里子氏に
よる「季の嵐」と題された作品。い
つでも、いちめんの桜吹雪に酔いし
れることができる。
こうして訪ねてみると、古川美
術館と爲三郎記念館は、ひとつの
意志で貫かれていることがよくわ
かる。日本の文化と芸術の価値を
広く伝え、人と地域をつなげなが
ら大切に守り続けていくという強
い使命感だ。それは、古川爲三郎
氏の遺志であり、二十年以上この
美術館が唯一無二の存在であり続
ける理由なのだろう。
日本人が失いつつある美意識を
取り戻すために、そして、疲れた心
と身体を癒すために、時間を見つ
けては訪ねたい場所である。

企業経営講演会

第17回企業経営講演会

2011年11月30日(水)開催

〈演題〉

これでいいのか日本〜世相を斬る〜



〈講師〉
かわむら じろう
川村 二郎氏
文筆家・元「週刊朝日」編集長

「日本語を壊す者は、国を壊す」という、思わず自らを省みたくなる強烈なメッセージが印象的であった川村氏の講演会。朝日新聞社での37年間の記者生活を経て、現在は

若者の文章力向上のための活動もされているなど、言葉を通じて世の中と向き合われてきた川村氏だからこそ発せられる、現代の日本社会における言葉の乱れ、さらには正しい

日本語教育の重要性などについてお話いただきました。まず、日本語が乱れ始めた発端は、敗戦後におこなわれた「国語改革」にあると指摘。学校で教える漢字、普段使用する漢字の数が制限され、逆に外来語が入ってきたことで、本来、適切な日本語があるにもかかわらず横文字の言葉を使用するようになり、「正しい日本語がぼかされてしまった」と訴えました。また、世の中に横書きの文章が増えたことを例にとり、必要以上に若者に合わせてスタイルを変えていく現代社会にも疑問を投げかけました。「新聞も、ずいぶんと横組みの記事が増えましたが、内容の良くない文章は、横だろうと縦だろうと読んでもらえません。さまざま文化が、若者に合わせることで中身が

希薄になっているように思えます」。そこで現在、大学でも教鞭を執る川村氏がおこなっているのは、学生に文章を読ませるだけでなく、書かせることで、本質を理解してもらうこと。また、間違った日本語を使った学生に対しては遠慮なく指摘し、正しい言葉に訂正すること。「いまの子たちは、小さい頃からあまり怒られていません。ですから、中にはガミガミと言ってくれる大人を求めている子もいると思います。若者の学力低下が叫ばれています。その根本の日本語教育がきちんとしていないから、学習もきちんとできない。いま一度、正しく日本語教育を見直していくことが、教育全体において大切です」と話し、講演を締め括りました。

未曾有の大震災を経験した茨城のガラス会社社長が語る復興までの道のり。

いまの日本に必要なものを気づかせてくれた講演に、

多くの参加者が熱心に聞き入っていました。

第18回企業経営講演会

2012年7月11日(水)開催

〈演題〉

**非常時、緊急時にあなたの会社は
どうやって生きのびるか！**
私の会社はこうして生きのびた！



〈講師〉
ひらぬま ひろし
平沼 博氏

(株)水戸理化ガラス、(株)ミラス、
(株)ヒロックスプランニング代表取締役社長

主に特殊光源や特殊ガラスの加工製造をおこなう水戸理化ガラスの経営者として、東日本大震災により被災された平沼氏。東海地震の到来が危惧される中部地方の企業

に注意を促すとともに、万が一の事態に備えた企業の体質づくりについて、自らの体験をもとにお話いただきました。まず、知識を身につけた上で実践するのではなく、実践があ

るからこそ、そこに知恵や知識が生まれるという、現場主義“を提唱。「被災直後に復旧を進める際、各工場の権限をそれぞれの役員や部長クラスに移譲しましたが、その中ですぐを考え、行動することができたのは、平日頃から現場主義を実践している者たちばかりでした」と、その重要性を強調しました。また、震災を通じて、改めて必要性を確認したと話されたのが、グローバル化の推進。製造に使用する部材のほとんどは、同じく被災地である福島県の企業から供給を受けていたため、それまでは高価で買えなかった部材を購入することで辛くも対処した経験から、特に“サプライチェーンの分散化”と“生産拠点の拡散化”は避けて通れない問題であることを指摘しました。

「現在、弊社は中国やインドを中心に新たなサプライヤーの発掘をおこなっています。今後は、地域でつくったものを世界に売り出す、あるいは、海外でつくったものを国内に持ち込むことも考えていかなければなりません」と述べ、そうした中小企業のあるべき姿勢を“倭僑(わきょう)”と表現した平沼氏。「倭僑の倭は平和の和ではなく、室町時代に暗躍した海賊“倭寇”(わこう)の倭。要するに、日本企業が世界に向かって攻めていくくらいの気持ちが必要ならば、復興もこの国の未来も危ういのではないでしょうか」と話し、日本における製造業のメッカである中部地方の企業へ力強いエールを送りました。

洗濯日和で

人類で初、月面へ着陸したアームストロングさんが、今年8月に亡くなった。82才だった。アポロ11号が着陸した映像は自宅のテレビで見えて興奮したおぼえがある。1969年7月、これから宇宙旅行の時代が来るかも知れないと思った。

17世紀のフランスで『日月両世界旅行記』を書いた人がいる。その名はシラノ・ド・ベルジュラック。この奇妙な人はガラス瓶の中へ細い露(水滴)を封入し、この瓶を身体にたくさん取りつけ、太陽光を浴びていると空中へふわりと浮き上がり、上昇し続ける。そのまま、月の国・太陽の国を訪ねるお話。まあ、風船かロケットのようなものを考えたわけ、詳細は挿画が入った本書をごらん下さい(赤木昭三訳「岩波文庫刊」)。

科学文明が進歩した現在、アームストロングさんは「月の人」には出会っていないし、「ウサギが餅を搗く光景」を見てはいない。ただ、殺伐とした荒野が広がっているだけであった。月面着陸から40余年経った今、太陽へ着陸してみようという人はいるだろうか。なるほど、電磁波などの観察技術は進化

暮らしのエッセイ 6

太陽へ旅する

岡本信也

text by Shinya Okamoto



し、太陽観測は行われているようだが、17世紀のシラノ氏の如く、太陽へ出かけて行く妄想の人は少ない。地球上の酷暑とはくらべものにならないほど、太陽着陸は暑いでしょうねえ。

毎朝、天気予報をテレビで聞いていると、女性アナウンサーが「今日は洗濯日和でしょう」と言う日がある。全自動洗濯機が普及しても乾燥機を使わず、お

天気の良い日は洗濯物やふとん、シーツを太陽光に向けて干したくなる気持ち。太陽が発した光は8秒ぐらいで地球へ届くという。その光線で物を干す、という習慣は、亜熱帯に棲む日本人の歴史・風土から生み出されたものだろう。物干しばかりではない。穀物や果物ほか種々の秋の収穫物は、この太陽の恵みであるし、地球上の生き物のいのちの維持も太陽のおかげ。と考えるならば、洗濯日和もかけがえのない「晴天の一日」と思われてくる。



夏の風俗から

今年の夏日、街を歩いていると、日傘・帽子に、長い手袋をはめ、サングラスをかけたたりする婦人を所々で見た。なかには黒い日傘、黒いスカーフ、黒めがね：全身黒づくめ、女忍者のような婦人とすれちがいで、ドキリとした。日除けの用具がさかんに使われている(図A)。とくに、近年は日差しが強い日々が続くので、光線をさえぎる工夫をする人たちが目立つ。

図A 日除けの女性たち(2012年8月・名古屋市内で。岡本靖子採集図)



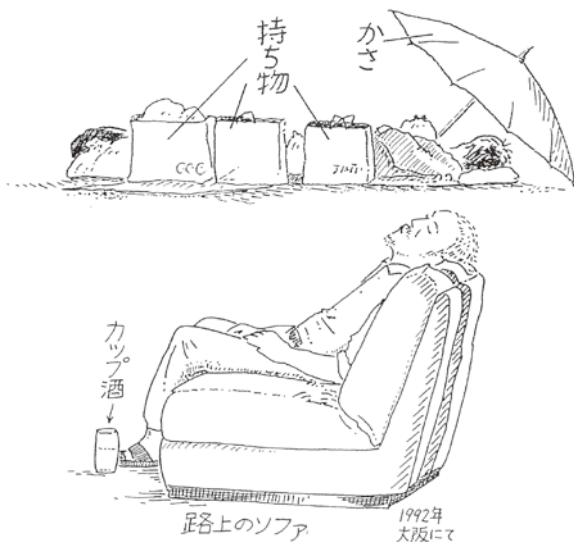
図B 手拭・タオルの人々
(1970~80年代・名古屋及び東京で。図中12~14は三重県の難島で採集)

また、他方では手拭・タオルの使い方
方も変わりつつあるように思われる。
図Bは30年ぐら前に各地で調べた
もの。建築・道路の工事現場や野良
仕事で働く人が、頭部に鉢巻をした
り、首に手拭を巻いたりしている。屋
外で労働する人々なので、日除けと同
時に汗を拭くためのものである。タオ
ル(towel)は福沢諭吉が『西洋衣食
住』(慶応3年・1867年刊)の中
で——西洋手拭、丈2尺5寸と紹介
したように、欧米からの移入であり、
明治中期以降、ふかふかして肌触りが
良く評判となって普及したと言う。近
時はタオルと手拭は区別がつきにく

くなつたが、旧来のものは、和風に手拭
(木綿・平織)、洋風にタオル(輪奈織・
浴用)としていた。この吸水性にすぐれ
たタオルは、ハンドタオルのような汗拭
きとか、水拭き・手拭きのおしぼりや
雑巾・掃除用具にまで広く使われるよ
うになった。30年前、工事現場で汚れて
古くなったタオルが、雑巾となつて使用
されている光景を見たことがある。古
手拭と同じあつかい方である。ハクライ
(舶来)であつた西洋手拭が、百年余
経つて日常の暮らしの中へとけ込んでい
る。今は和洋の区別なく使う。
太陽が西へ傾き、日が山の端に沈む
頃、「夕涼み」を思い出す。小さな体験

であつたけれども、1960年代まで
は路地裏の隅で縁台を出して涼む人
たちがいた。それは私が住む名古屋に
かぎらず、どの街にもあつたはずで、
縁台を囲んで練香花火をやつたり、か
き氷・西瓜を食べたり、将棋をうつたり
した。まだ、ルームクーラーという設備
はこの家にもなくて、夏の夕方は路
地やカンシヨ(閑所)で夕涼みした。敗
戦後から10年間ほどの記憶である。
1970年代に、この夕涼みを思い
出し、縁台をもとめて各所を歩き回つた
が、ルームクーラー、マイカー時代がはじ
まり、縁台は邪魔者扱いされていた。運
良く見つけたりもしたが、置き場がな
く雨晒しにされていたり、無残な状態で
空地に放置されていた。21世紀の今でこ
そ、縁台・縁側はコミュニティ
再生のヒントとして着目さ
れたりするが、当時は車を
持つこと、家の中が涼しくな
ることに熱心であつた。

20年前、大阪の街の路上
で居眠りしている人を時々
見かけた。縁台ではなくて、
ソファの椅子であつたり、路
面にダンボールのようなもの
を敷いて寝ている(図C)。
昭和初期の『考現学採集』書の中にも、
公園や駅のベンチなどで居眠りする人
を観察しているが、平成の時代になつて
も、同様の現象が続いているのでうれし
くなつた。真昼間から喫茶・カフェで居
眠りする人が目立つが、電車の車内で
居眠りする人は多い。車内で新聞・雑
誌を読む人がいるが、近頃ではケータイ
(スマートフォンなど)を見ている人が
3~10%、急速にふえてきた。先日、若
い女性がケータイを見ている、と思つた
ら、とつぜん、ケータイを床にポトリ!
と落した。ケータイを見ながら居眠り
をしていた。日暮れた夜間ではなくて、
お日さまが出ている日中からウツラ、ウ
ツラする人々。太陽へ旅するより、眠る
快樂には勝てない。



図C 昼寝する人々(1992年大阪市内で)

研究室訪問

シリーズ
紹介

実際に何千種類ものガスによって構成されている、私たちの息。その中に含まれる物質を測定することで、病気の診断に役立てるための研究をおこなっているのが近藤教授です。以前から近藤教授は、脂肪が燃えるときに皮膚から発生する「アセトン」という物質に注目していました。「普段、人は糖を燃やしてエネルギーを得ていますが、糖を正常に燃やせない状態にあるとき、例えば糖尿病の方などは糖

呼吸の測定によって、 糖尿病の重度を解析。

の代わりに脂肪を燃やす量が増えます。そこで、アセトンの量を測定すれば、糖尿病の重度がわかるのではないかと考えたところ、実際に糖尿病の方は皮膚から出るアセトンの数値が高いことがわかりました」。現在、息を吐き出すだけでアセトンの数値を測定できる小型の呼吸測定器を用いて、糖尿病の人や糖尿病を心配する一般の人たちでも簡単に判定できる方法を企業との共同研究によって模索中。糖尿病の予防や糖尿病患者の状態把握などに役立てることができそうです。

呼吸の測定技術が 進歩すれば、 検査も簡単に。

また、主に呼吸の測定は、ガスをひとつずつ測定する方法でおこなっています。数種類のガスを一度に測定する方法も模索しています。例えば、国立循環器病研究センターや企業と共同で研究している内容は、気体の分析をおこなうガスクロマトグラフを使用し、さまざまなガスのパターンを一度に分析する方法。「さまざまなパターンを広く見ていくことで、その中から何かの

病状に結びつくパターンがないかを調べています。私たちが把握しているガスはほんの一握りですが、新たに病気の原因となる物質は、まだまだたくさんあるはずですから」。今後、呼吸に含まれるあらゆるガスの分析が進み、一度にさまざまな解析がおこなえるようになれば、わざわざ血液を採取して血液検査をする必要もなくなります。臨床の現場で、また一般家庭で、息を吐くだけで簡単に健康状態がわかる時代が訪れるかもしれません。

No.1 生体ガス医学
吐き出す息に
含まれるガスを分析し、
健康状態の理解に
役立てる。



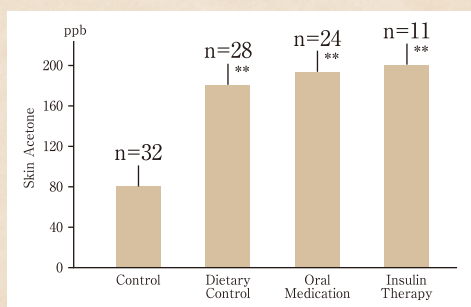
生命健康科学部 スポーツ保健医療学科
こんどう たかはる

近藤 孝晴 教授

[専門分野]
内科学、消化器病学

[研究テーマ]
消化器病学、生体ガスと病態

■ 糖尿病患者の治療別皮膚アセトン濃度



糖尿病の状態が重いほど、皮膚のアセトン濃度が高くなることわかる。

中部地域屈指の総合大学として成長を続ける中部大学。

今号は、7学部29学科から文理4学部の研究内容をそれぞれご紹介します。

産官学連携あるいは事業化等にご活用ください。

私たちの身体を構成する細胞は、常に細胞の外側からの情報を内側に伝達し、その機能を調節しています。このように情報を細胞内に伝える仕組み、いわゆる「シグナル伝達」と呼ばれる領域を研究しているのが大西教授です。生物学の解析方法のひとつとして、現代では遺伝子を使った手法が必要不可欠。遺伝子が細胞の中でどのような働きをするかを調べるために、外から細胞の中に遺伝子を

ひとつの酵素を標的に、シグナル伝達を研究。

入れたりと、また中にある遺伝子を除去することで、細胞の変化を確認します。その情報を伝えるメカニズムには多くの種類がありますが、中でも有名なメカニズムのひとつが、たんぱく質のリン酸化・脱リン酸化反応。「たんぱく質にリン酸基をくっつける酵素であるプロテインキナーゼに対し、リン酸基を除去する働きを持つ酵素がプロテインホスファターゼ。私は、主にこのプロテインホスファターゼを研究の対象としています」。

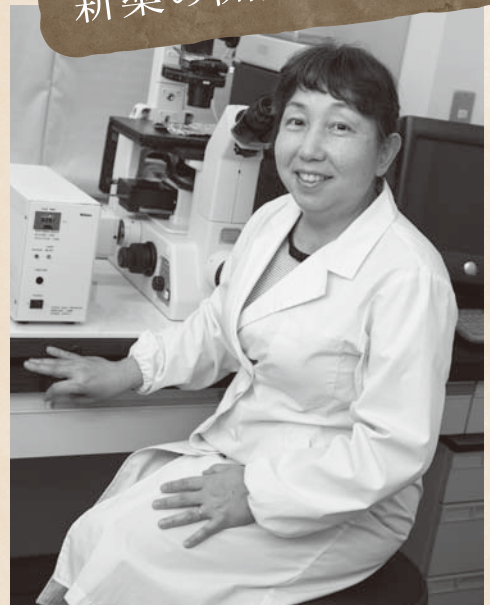
シグナルの正しい伝達は、私たちが健康を維持する上で重要であり、逆に言えば、シグナル伝達の異常が病気の原因となるのです。大西教授が目指しているのは、プロテインホスファターゼを通じたシグナル伝達のメカニズムを解明すること、あるいはその活性に作用する分子を発見することで、病気の治療法や新薬の開発へと繋げること。現在では、ガン、肝硬変、糖尿病、骨粗鬆症などが、プロテインホ

目標は、分子標的治療薬の開発へ繋げること。

スファターゼの働きに関わることがわかっています。「ガンの治療に使われる抗がん剤などは、細胞の増殖を抑制する働きを持った薬であるため、健康な細胞の増殖も抑制されて、副作用が表れます。しかし、プロテインホスファターゼを標的にすることによって、問題となる分子をピンポイントで抑える「分子標的治療薬」の開発に役立つ可能性が大きいです」。酵素で生命の制御を目指す大西教授の研究。ひとつの発見が医学の進歩に貢献することも、大いに期待できます。

No.2 分子生物学

細胞の情報伝達の仕組みを解明し、病気の治療法や新薬の開発に貢献。



応用生物学部 応用生物化学科

おにし もとこ

大西 素子 教授

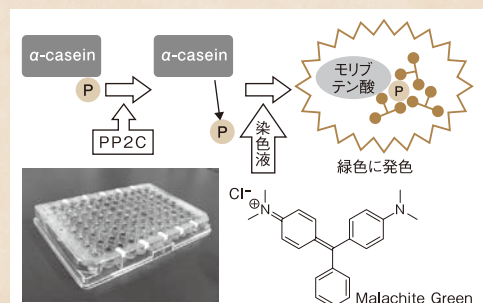
【専門分野】

分子生物学、生化学

【研究テーマ】

細胞内情報伝達系におけるプロテインホスファターゼの機能に関する研究

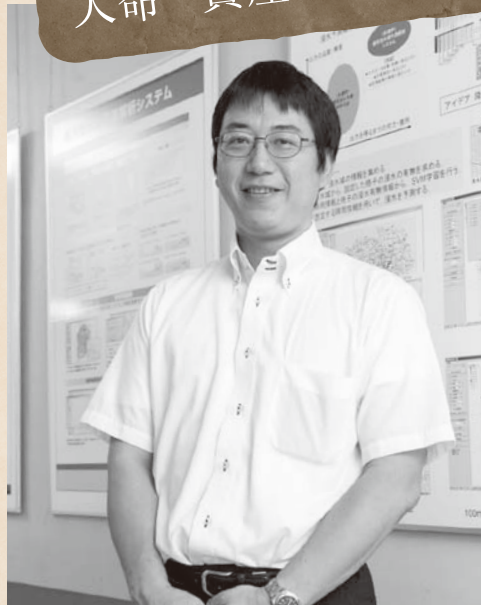
■ Malachite Green Assay法



リン酸基を除去するプロテインホスファターゼの働きを表した図。

NO.3

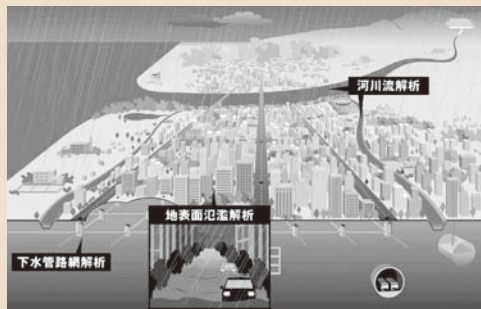
より細かな
氾濫解析をおこない、
水災害から
人命・資産を守る。



工学部 都市建設工学科
たけだ まこと
武田 誠 准教授

[専門分野]
水工学、都市耐水
(水環境問題、水災害における防災対策のあり方)
[研究テーマ]
都市域における水災の評価および対策に関する研究
地域防災力向上に関する方法論に関する研究
都市河川堀川の水質および水環境問題に関する研究

■都市型水害予測解析システム



地表面氾濫、下水道、河川をダイナミックに連成して解析。

先駆的な研究が役立ち、
解析システムが実用化。

近年、深刻な被害が発生している集中豪雨による都市型水害。「ゲリラ豪雨が発生した場合、どのような浸水が生じるのか」、この解析法の構築に取り組んでいるのが武田准教授です。2000年に発生した東海豪雨で都市型水害の危険性が注目されるようになりましたが、それ以前に、地表面の浸水解析と下水道解析の連成解析の検討を実施していた武田准教授。「かつては、雨水排水に関する下水道

の機能を十分に解析することができなかつたため、内水氾濫の解析は非常に難しいものでした」。内水氾濫とは、大雨で川（外水）の水位が上がり、市街地に降った雨（内水）の水はけが悪化し、建物や道路が水に浸かってしまうことですが、この内水氾濫にも対応した解析システムを、先駆的な研究事例を基礎にして鹿島建設と共同開発。東海豪雨後、名古屋市でもこのシステムが使われ、現在でも「都市型水害予測解析システム」として市販されています。

実際の暮らしに即した
対策の構築を目指して。

先日、東海・東南海・南海地震により32万人の死者が想定されました。ただ適切な防災・減災の対策を取れば6万人に減ることも示されました。ここで重要なのは住民の危機意識の向上だと武田准教授は語ります。「大規模な浸水が起きたとき、人は逃げなければ被害を受けます。理想的な避難とは、災害に弱い場所を認識した上で、情報を的確に受け取り、早めに行動することです。ただ、残念ながら住民

の危機意識はまだ高くありません」。防災教育の必要性が迫られています。また、現在一般的に使用されている50メートルスケールの解能力での解析では、全体的な浸水の様子を解析することはできて、二つの家のダメージまでは解析できないとのこと。「現在進めているのは、数10センチメートルの分解能を有する道路などの細かな氾濫解析です。この解析が実現できれば、避難路の検討も十分な精度でおこなえます」。実際に即した対策の構築が今まさに着々と進められています。



中部大学研究支援センターでは、企業の皆様のニーズに応じて、関連分野の研究者を紹介しています。共同研究や委託研究など、研究支援の相談窓口としてお気軽にご相談ください。

研究支援センター

0568-51-4852 (直通)

幸友会事務局を介したご相談も承っております。

[幸友会事務局] 0568-51-4740 (直通)

企業が地域も共に発展する
ビジネスモデルを模索。

非常利組織や非政府組織のマネジメントが専門の野田准教授。開発マネジメントにおいて、政府、非政府組織、企業などのステークホルダーが、どのような形で協同していくのがよいか。なかでも脱成長の開発、言い換えれば経済成長のみに依存しない生活向上の在り方、たとえば環境や地域社会を重んじる生活向上の在り方などを研究されています。「確かにお金を稼ぐことや成長も大事ですが、そのことによ

て失うことも多々あります。高度成長期は経済成長と生活の向上は比例していましたが、バブル崩壊以降はそうではない。経済成長すれば生活が良くなるという幻想はそろそろ捨てたほうがいい。人々の生活向上あつての経済を目指すべきです」。企業が発展していく、あるいは社会の一員として貢献していく中で、そこで働く人の待遇がよくなり、生活が上がり、そして企業を取り巻く地域社会も発展していく、そういったビジネスモデルこそが重要だといえます。

さまざまな事例から探る
ソーシャルビジネス。

野田准教授が近年、特に関心を寄せている国がタイです。「タイは、国家の開発政策の中枢に、足るを知る経済」というコンセプトを掲げている点が非常に興味深い」と語る野田准教授。1960年代以降、タイは経済成長を重視するあまり、自然搾取的に、また地域社会のつながりを無視するような形で開発を進めてきました。しかし1997年の金融危機以後、それまでの計画を批判的に総括し、「経済発展から

人間中心の開発」へと大きな転換を図ったのです。それは、「儲けるための農業」から、森を再生し、ため池を作り、水資源を確保し、複合農業という自分たちが「生きるための農業」への転換であり、地域社会の再生でもありました。「世界中をまわっていると、生活や、国をより良くするためのヒントがたくさんありますし、さまざまな幸福の尺度の存在に気づきます」。今こそ、ブランドイメージを上げるための企業活動だけではない、ソーシャルビジネスの可能性にもっと目を向ける必要がありそうです。

経済学

NO.4

今こそ注目したい、
ビジネスの手法で
社会的課題を解決する
ソーシャルビジネス。



国際関係学部 国際関係学科

のだ まさと

野田 真里 准教授

[専門分野]

社会開発政策、NGO・NPOマネジメント、経済発展論

[研究テーマ]

持続可能な開発とコミュニティ、ソーシャルビジネス、NGO/NPOと住民参加、グローバル化と人間の安全保障

■タイのコミュニティマーケット



有機野菜の地産地消で地域社会を活性化している。(撮影:野田 真里)

おとなの健康塾 3



ウォークと検診で健康長寿を

中部大学 生命健康科学部 理学療法学科 教授 ^{おき}沖 ^{たかし}高司

私の健康カルテ

私は父、長兄とも50歳で死亡のため人生は50年と決め、若い頃は健康を省みず悔いのない人生を求め仕事に、時に遊びに集中し、結婚後の家庭は母子家庭となる。その報いは42歳の厄年前に「網膜前出血」として現れ一時はメスを持ってぬ外科医となるかと悔むが、幸い1カ月の休養で完全復活する。これを健康への警鐘と考え、また医者の不養生を恥じ、人間ドックを定期的に受け規則的な生活を心掛ける。50歳時には39度前後の不明熱が1週程続き2週間休養する。55歳時には朝起床後、洗面、トイレ、車運転時等に鼻出血が起り10分程横になることを要する。耳鼻科受診するも原因分からず、3週程して診察中に鼻出血が起り初めての血圧測定で200(120 (mmHg)の高血圧によ

ると判明する。肥満と糖尿病の家系であるためメタボリック症候群対策として運動が必要と考え、山登り、サイクリングに挑戦するも困難でウォークに落ち着き、週末1日1万歩を目標とする。唯歩くだけでは楽しくなく、ファミリーストランドの朝食とか梅、桜、藤の花見、美術館巡り等もう一つの目的を加えて習慣づけが可能となる。平日は7千歩位を目標に、少ない時はプールでのウォークを加える。食生活では菜食中心で油ものを少なくし、アルコールはカロリー70%オフに変更し継続する。56歳時ノドの通りが悪く前頸部に腫瘤を認め、甲状腺のう腫の診断にてホルモン療法を受け腫瘍は縮小するが、ガン年齢を自覚し腫瘍マーカーと腹部エコーを人間ドックに加える。4年後腫瘍マーカーPSAが高値で前立腺肥大ガンを疑って生検を受ける。69歳時、腹部工

コー検査で腎腫瘍が発見され、無症状ながら腎がんの診断で腎摘出を受ける。このように前半は節目ごとに起るサイン、そして後半は検診にて異常を発見し適切に対応することができ健康を維持している。

健康長寿になるには

長寿には死因の3分の1を超える悪性新生物(ガン)と10%を超える心疾患と脳卒中の予防、克服が必要である。ガン対策については喫煙など生活環境面の注意も大切ではあるが、検査機器が格段に進歩し診断技術も向上している現在では、早期発見、早期対処が一番確実な予防で、腫瘍マーカー、エコー検査、内視鏡検査などを適当な間隔で組み合わせる定期的な検診を受けることが勧められる。健康のまま長寿を目指すには要介護、要支援となる原因へ

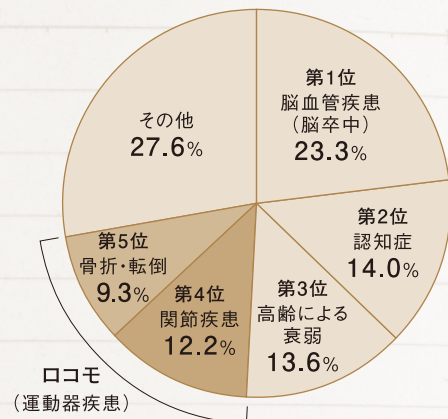


表1) 運動別消費カロリー(1時間) kcal

運動名	男性	女性
ジョギング	605	470
階段登り	478	371
ゴルフ	382	297
階段降り	287	223
水中ウオーク	255	196
速いウオーク	248	193
ウオーク	216	168
散歩	140	109

*男女とも25歳基準体重を元に作成

図1:要介護・要支援となった主な原因



ロコモ (運動器疾患)

の対応が重要である。その主な原因は①脳卒中、②運動器疾患(骨折、外傷、関節疾患)、③心身の衰弱(認知症および身体的衰弱)の3つに分類され各々4分の1程度占める(図1)。この脳卒中と心疾患の基礎となるメタボリック症候群は肥満に高脂血症、高血圧、高血糖を伴うもので、その対策の基本は体内脂肪の減量で、運動と適正な食生活である。骨折、外傷の一番の原因となる転倒の防止には身体、特に下肢筋力の維持、強化が中心となり、関節疾患についても関節への負担軽減として肥満減少と下肢筋力強化が大切である。運動は身体を動かすことにより心身を活性化させる作用があり心身の衰弱にも有効である。

以上より健康長寿には早期発見によるがん予防と同時に適正な食生活と運動が重要であることが理解される。食生活については経験より食物摂取の量、内容など細かく考えず今からできる簡単な対策、即ち①主食を減らす。②油の量を少なく薄味にする。③野菜、豆腐系を多めにバランスをとることから始めるのが得策である。運動にしてもエネルギー消費量、運動量など難しく考えず簡単にできるウオークが最適と考える。

ウオークの効果は

ウオークの最大の利点は何時でも何処でも可能で、走行、階段昇降など自由に負荷を変えられることができ、自分に合ったプログラムを組むことができることである。負荷により運動別エネルギー消費量は表1のように変化する。意欲が問題となるが、歩き始めから20分程すると気分が高揚して歩く負担を感じなくなることに加え、有酸素運動にて体内脂肪の燃焼が盛んとなりメタボリック対策にも効果的である。自然の中でのウオークは四季の変化を肌で感じ気分がリフレッシュし思考をめぐらすのに最適で、色々なアイデアが創出される。またウオークの場所、目的を変えることにより飽きることなく継続することができる。

おわりに

厚労省の調査では自立して健康に生活できる日本人の健康寿命は男性70歳、女性74歳で、平均寿命までの期間は男性9年、女性13年である。この期間を少しでも短くし、俗にいう“ピンピンコロリ”で天寿を全うできるように自分に合った運動と適正な食生活を始めることが勧められる。



第4回

本棚から
社会を見る

私たちが人間らしく生きていくために欠かせない「言葉」。

しかし最近はその厚みや重さが失われたと言われるようになりました。

また、スムーズなコミュニケーションにつながらない使われ方も問題視されています。

それは、私たちが言葉の意味をきちんと理解できていないからなのでしょうか。

今回は、コミュニケーション力と言葉の関係について、お話を伺いました。



今回のテーマ

その言葉、相手に 伝わっていますか？

今回お話を伺った方

中部大学 現代教育学部
児童教育学科

とよだ
豊田 ひさき教授

広島大学大学院教育学研究科修了、教育学博士。専門は、授業の実践論と実践史研究です。大阪市立大学に30年近く勤務後、名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授に着任、附属中学校長を兼ねる。平成18年中部大学に赴任、現代教育学部初代学部長として汗を流しています。大阪勤務が長かったためが第一言語は大阪弁で名古屋弁は未熟です。



「最近、「言葉が軽い」と言われているようですが。」

たとえば、こんな話があります。とある組織が高齢者の健康に関するアンケートをおこなったときのことです。アンケート用紙に「生きている値打ちがないと思ったことがありますか？」という項目を見つけて、とても驚きました。その問いにイエスノーで回答させるのです。このような質問は、相手と自分の間に信頼関係ができあがっていて初めてできるものだと思いますか。相手が自分を信頼してくれた上で「もう自分は生きている価値がない」と重い口を開いたとき、やっと「どうし

てそう思うのですか？」と問いかけることができる、とてもデリケートな話題です。しかし、そのようなシチュエーションではなく、書面でポイントと質問してしまった。恐ろしいことだと思えます。どうして、こんなことが起こるのか。それは、言葉を発する側に、コミュニケーションには文脈が必要なことが理解できていないからです。自分が言っていることに対して、相手がどう感じるかの配慮が足りない。自分の脈絡だけで会話をしているからです。そもそも、コミュニケーションに、「立て板に水」のような話術は必要ありません。朴訥でもいい。自分の発する言葉が相手にどう伝わるかを考えて話す。一言一言が通じるかどうか慮って言葉を選ぶことが大切なのです。でも、そのような思いやりが、現代の社会では失われつつあります。

— どうして、 思いやりのある会話が 生まれないのでしょうか。

最近、学生たちと向き合っていて実感することがあります。今の若者

たちには、生きていくこととはどういうことか、大学を卒業して社会で働くとはどういうことかがわかっていない人たちが多いということです。経済的に豊かな日本では、大学へ行く理由が「みんなが行くから」になっ

てしまっている。卒業後もフリーターで何となく生きていける。だから、就職しなくても十分だと思う。そこに、大学まで進学させてくれた両親や、ここまで成長を見守ってくれた地域社会に対する感謝は感じられません。当然、恩返ししなければという使命感も見受けられません。彼らにとって、生きることに、仕事すること、生活することの意味が、とても

浅くなっています。昔は、大

をIQではかろうとしますが、それでは「生きる力」は育ちません。本学に入学した学生も、これまで小・中・高校と学力重視一辺倒の中で育ってきたことでしょう。でも、中部大学での勉強は、自分の足で確かめ、自分の目で見て、自分の手で触れて納得することだと伝えたい。学生たちは原石です。今、表面に見えているものだけで学生たち

— では、若者の自信を 育てるにはどうしたら よいのでしょうか。

今、地域の教育力が失われています。地域全体で子育てしていくという意識がなくなりました。人は一人では生きていけないのに、どんな人とも「一緒に生きていこう」という気持ち希薄になってきたから、いじめなどの問題が生まれてい

自分自身^が確立していないと、
相手の立場を
慮ることができない。

Book Review

豊田ひさき先生の

私の一冊



「言葉に何ができるのか 3.11を越えて」

佐野 眞一 和合 亮一
徳間書店

私が最近惹きつけられた本は、社会派のノンフィクション作家佐野眞一と高校教師で原発事故後も福島に住み続ける詩人和合亮一の対談『言葉に何ができるのか 3.11を超えて』である。言葉の職人である二人によって紡ぎ出される東日本大震災と原発事故の下での庶民の生活の実情は、正に目の前で展開されているドラマを観ているような臨場感がある。その臨場感は、「小文字の日常」が描き出されているところにある。「頑張れって言わないで、言われると泣きたくなの」という小文字であるが故に、読み手に、もしそれが自分であったら、自分はどうするだろう、と次を読み進めたいくなる状況が創りだされる。このような状況に引き込まれた読み手は、そこで自分なりに考えている、頭だけで考えるのではなく身体全体を使って考えて(=哲学して)いる。もう一冊、「事实は小説より奇なり」の典型として佐野眞一『あんぼん 孫正義伝』もお勧めしたい。

の能力をはかることはできません。まだ芽が出ていないところの可能性に賭けたい。フィギュアスケートのオリンピック銀メダリスト、伊藤みどりさんにこんなエピソードがあります。彼女が母校でスケートを教えたときのこと。スケート経験のない一人の生徒が転んだのを見て、彼女は「転び方が上手いね」と声をかけたそうです。できたことよりも、できなかったことに可能性を見出す。これがプロの教育です。教師はしばしば教えたがります。しかし、子どもには子どものやり方がある。その子の前に立つて「ここまでおいで」と言うのではなく、知識を押しつける

—そうして巣立った 若者たちを迎えるのは、 競争社会です。

社会は変わりつつあります。産

のでもなく、一緒に一步を踏み出す。並走する。時には後ろから押してみて、手を離す。こうした教育によって初めて、子どもたちに「我に力あり」という自信が生まれるのです。私は現代教育学部長ですので、教える学生たちは将来教師を目指しています。中部大学で本当の教育に触れ、卒業してからは地域の教育現場で自ら実践していつてほしいですね。

業にも経済にも、正しい答えのない時代が到来しました。今までになかったものを生み出す力が求められているのです。ここ東海地方の企業にも、新しいアイデアで世界に挑むことが必要になってきているのではないのでしょうか。そこで役に立つのが先ほど申し上げた、「生きる力」です。学生にも、早い時期から仕事に触れる機会を設け、身をもって学ぶことを体験させたいと思っています。昔の弟子入りは、教育の良い例でした。一緒に生活する中で感覚をつかんでいく。師匠の背中を見て感じる。技をぬすむことを憶えていく。そのような学び方をしてい

ば、叱られても「どうして怒られたのだろう」と、自分で考える力が身につきます。言われた言葉に「どうしてだろう？」と疑問を持つこともできます。大人は時に嘘をつきます。その事実気づき、社会の嘘を見抜き、自分で真理と言葉を結びつけていく。そうして身体で学んだ言葉こそが、真のコミュニケーションを可能にするのです。

幸友会 会員企業を訪ねて

会員企業紹介

中部大学卒業生とともに、会員企業の魅力を紹介する「幸友会会員企業を訪ねて」。現在活躍中のOBに、会社の特徴とご自身の仕事への想いを語っていただきました。

File01

株式会社関ヶ原製作所

<http://www.sekigahara.co.jp/>



精密石材製XYテーブル



ベッセル用多段シリンダー

事業内容

油圧機器事業、分岐器製品事業、精密機器事業、大型製品事業、船用製品事業

基本理念

限りなく人間ひろばを求めて

経営理念

特徴あるものづくり技術の研鑽と伝承を通じて 常に新しい事業領域の創造に挑戦し 市場の要請に応え 社会に貢献する



[住所]〒503-1593

岐阜県不破郡関ヶ原町2067

[電話]0584-43-1212

[代表取締役] 矢橋 昭三郎 / 佐久間 康二

[設立]1946年

100年企業を目指す。理念経営を推進しながら

鉄道の分岐器などの軌道用機器の生産から創業を開始した私たち関ヶ原製作所。当社はその後、船舶用クレーン、油圧シリンダー、トンネル掘削機、液晶及び半導体製造装置用のXYテーブルなどの設計、製造へと事業を広げ、ニッチな領域に絞った工業製品製造を進めてきました。しかし、ここまでの道のりは決して平坦ではありませんでした。1980年代後半、プラザ合意後の急激な円高や貿易摩擦により売上は半減。そんな折、“不況は仕方ない、せめて明るい会社でできないか”という声が上がります。スタートしたが、企業革新活動「ニューセキガハラ運動」でした。これは、人づくりをベースにした「人間ひろば」づくりと、ビジネスモデルの探求、そこに「会社はみんなをつくるもの」という「チーム知経営」を加え、社会的存在価値のある100年企業



にしがわ まさとし

西川 雅敏さん

株式会社関ヶ原製作所 取締役
精密機器カンパニー プレジデント
中部工業大学 工学部
機械工学科 1982年度卒業

の実現を目指すという考え方です。「企業は人の集まり、人そのもの」というニューセキガハラの原点が生まれた瞬間でした。

マーケティングと石の技術で
お客様の期待に応え続ける。

精密機器事業は、1987年に当社の新事業として精密石材加工分野に参入して以降、この分野ではパイオニア的存在として、半導体や液晶市場とともに成長してきました。以来、日本における最先端技術の進歩の一翼を担ってきましたが、昨今に見られる製造拠点の海外移転、液晶分野の新製品新市場への転換など、事業環境は厳しくなっています。昨年10月から、精密機器カンパニーのプレジデントを務めています。このような変化の激しい時代には、いかに自分も変わり続けながら市場に役立てていくか。また、生き残りをかけ、事業の生命線であるマーケティングと石の技術で新たな領域を見つけ、お客様の期待に応え続けるカンパニーの実現を目指すことが重要です。今こそ、事業を立ち上げたときの想いをもう一度思い起こしながら、若い社員とともに新市場を開拓していくことが私の役割だと思っています。

File02

フルハシEPO株式会社

<http://www.fuluhashi.co.jp/>



川崎バイオマス発電



チップ化



木製パレット



愛知第一工場（春日井）

事業内容

木質バイオマス、プラスチックリサイクル、
建設系副産物リサイクル、分別解体リサイクル、
各種物流機器の製造販売、ヨガスタジオ

経営理念

持続可能な地球環境と企業価値向上の積極的な実現

[本社住所] 〒460-0022

愛知県名古屋市中区金山1-14-18
金山センターブレイス6F

[電話] 052-324-9088

[代表取締役社長] 山口 直彦

[設立] 1948年

“林業からエネルギーまで”
木と共に成長し続ける。



いしぐろ ゆみ
石黒 有美さん

グリーンジャパン本部
環境物流事業部 営業部
中部大学 応用生物学部
環境生物科学科 2010年度卒業

弊社は設立時、製材業を主な事業としていましたが、その際に出る端材がもつたという考えから、リサイクル事業に着目。まだ世の中の環境意識が育っていない中、“木から資源をつくること”をコンセプトとして事業を発展させてきました。現在の事業は、森林再生及び木製（間伐材）パレットをはじめとした物流機器を販売する「環境物流事業」、独自の建設リサイクルシステムを提案し、ゼロエミッションを推進する「地球環境事業」、さらに、木質廃棄物をチップ化し、紙やボードの原料やバイオマスエネルギーとしてリサイクルする「バイオマテリアル事業」の三本柱。関東地区では三事業に加え、関連会社によってリサイクルチップを燃料とするバイオマス発電事業をおこない、震災後の電力

不足の中、電力供給の役も担っています。まさに、“林業からエネルギーまで”木と共に成長し続ける会社です。

新しいことにも積極的に
挑戦していく気風が魅力。

環境物流事業部の営業職として、自社で製造している木製パレットを中心に、あらゆる物流機器の提案・販売をおこなっています。大学では生物学をメインに学んでいたため、配属が営業と聞かされたときは驚きましたが、学生時代からできるだけ多くの人と会って話をすることを心がけてきましたので、日々たくさんの人と関わることができ今の仕事は楽しいです。主力製品の木製パレットは、ほぼすべてがオーダーメイドのため、使用用途や使用環境、積載荷重など、お客様からの丁寧なヒアリングが大切。経験豊富な上司に相談しながら、満足していただける提案ができるように注力しています。私が考える弊社の魅力は、新しいことにも積極的に挑戦していく気風があること。業務の中で楽しみを見つけることはもちろんですが、将来的には自分から楽しみをつくっていきけるようになることが目標です。

掲載企業大募集!

中部大学幸友会会報誌幸友Vol.16は2013年10月末日発行予定です。ただ今、次号の掲載企業を募集中。他にはない独自の技術を持つ会社、アピールしたい魅力のある会社を、紹介していきたいと考えています。「我こそは」という会員企業は、ぜひご応募ください。

お問い合わせ・お申し込み先

中部大学幸友会(中部大学渉外部内)

電話

(0568)51-1111(代表)

(0568)51-4740(直通)

File03

東濃鉄道株式会社

<http://www.tohtetsu.co.jp/>



「貸切バス事業者
安全性評価認定制度」の
認定を受けました。



事業内容

一般乗合及び貸切旅客自動車運送事業、高速バス(名古屋線・新宿線)、不動産賃貸業(テナントビル・駐車場)、物品販売業、旅行業

経営理念

わたくたちは安全で安心なサービスの提供に努め、
地域や社会に貢献します。



[住所]〒507-0035

岐阜県多治見市栄町1丁目38番地

[電話]0572-22-1231(代表)

[代表取締役社長]柴田 雅生

[設立]1944年

乗合バス事業と貸切バス事業を基盤に、子会社としてタクシー会社2社、商事、旅行会社を展開する弊社は、岐阜の東濃地区を中心とした地域密着型の企業です。当社は昭和19年に6社が合併して設立した会社です。戦後しばらくは笠原線や駄知線といった鉄道業で陶器の製品や陶土などを運んで事業をおこなっていましたが、時代の変遷にともなう自動車普及に加え、集中豪雨による土岐川鉄橋の流失などを経て、昭和49年に鉄道事業からバス事業へと本格的に事業転換。現在も社名に、「鉄道」とあるのは、その名残です。地域の公共交通機関である弊社が経営方針として最も大切にしているのは、お客様や地域の皆様への感謝。「地元の足」として社会的な責務を担っていくためにも、何より安心安全なサービスの提供を心がけ、昨年にはこの地

地域への感謝をモットーに、 安心安全なサービスを。



いだ はやと
居田 隼人さん

東鉄観光株式会社
瑞浪支店 営業係
中部大学 経営情報学部
経営情報学科 2011年度卒業

知識を深め、思い出に残る旅を 提供していきたい。

東濃鉄道グループの旅行会社である東鉄観光。私はその瑞浪支店で、旅行のご相談、受付、ご予約をはじめとしたカウンター業務や、学校関係の修学旅行などを担当しています。窓口では、弊社が企画しているパッケージツアーによる「募集型旅行」と、お客様のご予算やご要望に合わせて提案させて頂いた「受注型旅行」の取り扱いがあります。受注型の旅行はとにかく経験や知識が必要不可欠。まだまだ勉強不足で、ときにはお客様にご迷惑をおかけしてしまうこともあります。これから勉強を重ね、早くお客様に頼りにされる存在になることがいまの目標です。先日、地元の小学校へ修学旅行の見積書をお届けした際に、前回の修学旅行で担当させていただいた生徒さんが、私の名前を呼んで駆け寄って来てくれました。こうした嬉しい経験を今後も続けられるよう、思い出に残る旅を提供していきたいです。

区で初となる「貸切バス事業者安全性評価認定制度」を取得しました。今後もお客様の安全を第一に考え、地域に貢献し続けられる企業として発展していきます。

学生と企業を結びつけることが、大学の使命。

大学が、学術研究をおこない、学生を教育することだけを目的としていた時代は、とうに終わりを告げました。

少子高齢化は今後さらに進行し、これからの社会を支える若者たちは、一人ひとりがより重責を担わなければならないこととなるでしょう。

そして企業にとっても、優秀な人材の確保は、これまで以上に重要度を増す課題となります。

キャリア形成を視野に入れた教育で、社会で活躍できる確かな人材を育成し、さらに、学生と企業を結びつける架け橋となること。

それこそが、いま世の中に求められている大学の役割なのです。

全学を挙げて、 キャリア教育・就職支援を おこなっていく。

企業の採用活動が12月1日スタートになったことについては、これまでと特に変わりはありません。中部大学では元々、早い時期から就職活動に動き出すことが学生にとって有益なこととは考えておらず、それよりもまずは講義への出席や課外活動を重視するように指導してきました。

ですから、3年次の12月くらいから企業と接触しはじめるスケジュールは、本来のベースに合ったもので、世の中全体の就職活動早期化を食い止めるためにも、よい変化であると捉えています。

今年度の内定獲得状況としましては、昨年や一昨年の同時期と比較しますと、明らかによくなってきました。少子高齢化や円高の問題は依然として深刻なため、目を見張るような好転には至らないものの、不景気や震災の影響で落ち込んでいた企業の採用意欲が、緩やかに回復してきている印象です。そしてもうひとつの要因として、本学は昨年度「ディプロマ戦略室」を設置して、「100%

卒業」、「100%就職」、「卒業後の活動評価」の3つを戦略目標として掲げました。今年度は、その戦略を実行に移した最初の年であり、キャリア教育や就職支援の取り組みが全学的に広がり、学部・学科の先生方の間で意識が変わりはじめたのも大きな変化です。

具体的な取り組みとして、まず就職のサポートプログラムをわかりやすく再編しました。これまでもおこなっていた履歴書対策や面接対策、学内企業説明会などのコンテンツを「就職ガイダンス」としてシンプルに一本化。会場や日程も今までは全学的に統一していましたが、学科によって事情やスケジュールは異なるため、それぞれに合わせて個別におこなうようにしました。学科の先生方からも学生に参加を促していただき、「全員参加」を目指した就職ガイダンスとして実施。参加率も、昨年までと比べて格段に向上しました。

■2011年度の就職結果報告

学科名	卒業生数 (人)	就職希望者数 (人)	求 人			就 職			幸友会会員企業就職		
			会社数(社)	人数(人)	求人倍率(倍)	会社数(社)	人数(人)	就職率(%)	会社数(社)	人数(人)	会員への就職率(%)
機 械 工 学 科	152	139	6,559	6,567	47.2	121	134	96.4	42	49	36.6
電 気 シ ス テ ム 工 学 科	73	59	6,473	6,479	109.8	50	58	98.3	19	22	37.9
電 子 情 報 工 学 科	53	44	6,250	6,264	142.4	38	40	90.9	19	20	50.0
都 市 建 設 工 学 科	43	40	6,028	6,032	150.8	36	40	100.0	8	10	25.0
建 築 学 科	119	102	6,028	6,040	59.2	87	96	94.1	25	30	31.3
応 用 化 学 科	73	48	5,910	5,912	123.2	42	45	93.8	6	6	13.3
情 報 工 学 科	83	53	6,021	6,024	113.7	47	53	100.0	16	21	39.6
経 営 情 報 学 科	147	111	6,194	6,202	55.9	98	104	93.7	18	18	17.3
経 営 学 科	128	105	6,199	6,201	59.1	97	102	97.1	14	15	14.7
経 営 会 計 学 科			2015年3月卒業予定								
国 際 関 係 学 科	43	31	6,060	6,062	195.5	27	28	90.3	6	6	21.4
国 際 文 化 学 科	40	24	6,044	6,045	251.9	21	21	87.5	2	2	9.5
中 国 語 中 国 関 係 学 科			2013年3月卒業予定								
日 本 語 日 本 文 化 学 科	76	46	5,989	5,993	130.3	36	38	82.6	2	2	5.3
英 語 英 米 文 化 学 科	50	33	6,034	6,035	182.9	32	32	97.0	0	0	0.0
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	59	42	6,041	6,042	143.9	41	41	97.6	3	3	7.3
心 理 学 科	70	51	5,978	5,979	117.2	43	43	84.3	4	4	9.3
歴 史 地 理 学 科	81	59	5,968	5,969	101.2	49	57	96.6	3	3	5.3
応 用 生 物 化 学 科	85	57	5,775	5,776	101.3	47	55	96.5	6	11	20.0
環 境 生 物 科 学 科	94	80	5,742	5,743	71.8	68	73	91.3	6	6	8.2
食 品 栄 養 科 学 科	83	70	5,687	5,688	81.3	63	67	95.7	5	5	7.5
生 命 医 科 学 科	78	50	5,693	5,695	114	42	46	92.0	7	8	17.4
保 健 看 護 学 科	108	106	5,928	6,005	57	48	106	100.0	1	1	0.9
理 学 療 法 学 科			2014年3月卒業予定								
作 業 療 法 学 科			2014年3月卒業予定								
臨 床 工 学 科			2014年3月卒業予定								
ス ポ ー ツ 保 健 医 療 学 科			2015年3月卒業予定								
児 童 教 育 学 科	44	38	6,087	6,103	160.6	36	38	100.0	5	5	13.2
幼 児 教 育 学 科	69	53	5,922	5,923	111.8	41	52	98.1	0	0	0.0
合 計	1,851	1,441	138,610	138,779	96.3	1,210	1,369	95.0	217	247	18.0

各学科に、学生と企業を結びつける担当教員を設置。

また、ディプロマ戦略による最も重要な変化が、本学に29ある学科それぞれに、学生へのキャリア教育や就職相談、また企業との関係づくりをおこなう「キャリア開発担当教員」を任命したこと。最低でも4年は継続して担当していただくことで、その学科の就職支援とキャリア教育支援に対して責任を持つていただくとともに、各学科と企業間の窓口となり、企業の皆様との連携強化に努めてまいります。

かつては就職活動の際に、特に理系の学科では先生が学生を企業に推薦することは当たり前におこなわれていたのですが、バブルの崩壊やインターネットの普及を経て、そうした流れは壊れてしまいました。しかし、就職活動および採用活動においては、文系理系ともに学生と企業それぞれをよく理解した人間が間に入ることが、最も効果的なマッチングを生むと考えています。そして、学生のことをいちばんよく知っている先生が企業を訪問することで、いま企業が抱えている問題や求めている人材などを理解し、就職支援やそこに至るまでのキャリア教育に活かしても

らう。また企業側にとっても、この少子高齢化の時代に優秀な人材を確保することは、この上なく重要な命題だと思えます。大学の先生と連携を深めることで、学生の現状を把握したり、人材育成のヒントを得ることができるとも、非常に大きいです。これから本学のキャリア開発担当教員がおいしましたら、是非ともご協力ください。皆様のご要望をお聞かせいただくとともに、こちらからも学生の就職支援やキャリア教育支援のお手伝いをお願いすることもありますが、ご対応のほどよろしくお願いいたします。

採用担当者様へ

求人に関するご相談やお問い合わせは、キャリアセンターまでお気軽にどうぞ。



中部大学キャリアセンター
TEL.0568-51-1111(代表)
0568-51-4184(直通)
FAX.0568-51-1982
E-mail:syusyoku@chubu.ac.jp

「幸友会就職ナビ」
掲載企業も募集中

中部大学幸友会事務局
TEL.0568-51-4740(直通)
http://www.chubu.ac.jp/koyunavi/
(幸友会就職ナビ)

不安定な未来に臆することなく、前へ進み続ける。



第24期 中部大学 幸友会総会報告

平成24年4月25日(水)、名古屋東急ホテル・バロックの間にて開催された「第24期中部大学幸友会総会」。

東日本大震災によって、より先行きの見えにくい日々を過ごすこととなりましたが、この一年を乗り切れたことが自信となり、また前へ進み続けようとする姿勢が、登壇者の挨拶、またそれを聞く参加者の様子などから見てとることができました。

※所属・役職は総会当時のものです。

明るい話題を糧にして、一歩前へ進んだ幸友会を。

昨年の東日本大震災以降、世の中がめまぐるしく変化する中で24期目を迎えた幸友会。新会長として、この一年を過ごした松尾隆徳氏から皆様へ、無事に乗り切ることができた感謝の言葉と「さらに一歩前へ進んだ幸友会をつくっていきたい」という抱負による挨拶があり、総会はスタートしました。

続く山下興亜学長は、この春、晴れて第一期生の卒業を迎えた現代教育学部の話にはじまり、新入生の入学状況、卒業生の就職状況、また産学連携による充実した研究活動の状況など、いずれも中部大学の明るい現況を報告。また、来賓としてご列席いただいた中部経済産業局局長の紀村英俊氏から祝辞の言葉をいただきました。さらに、第23期の事業報告と収支報告をマズプロ電工株式会社取締役会長瀬尾英重氏、第24期事業計画と収支予算報告は中

部精機株式会社取締役社長堀越正勝氏により、それぞれ伝えられました。

総会終了後は、中部大学の教授であり、メディアでも広く活躍中の武田邦彦氏による講演会を開催。「環境エネルギー問題とこれからの産業」を演題に、原発問題や今後のエネルギー問題について、独自の見解を述べられました。

その後、会場を移しておこなわれた懇親会では、リラックスした雰囲気の中、大学と会員企業、あるいは会員企業間の活発な意見交換がなされました。



経済産業省中部経済産業局局長の紀村英俊氏よりご祝辞を賜りました。

プログラム

■総会(午後4時00分～)

開会
会長あいさつ
学長あいさつ
報告:理事会・評議員会の
審議事項の報告

■講演会(午後4時50分～)

[演題]
環境エネルギー問題とこれからの産業
[講師]
中部大学教授 武田 邦彦

■懇親会(午後6時20分～)

中部大学幸友会 新役員

新顧問

豊明市長
石川 英明

新名誉会長

学校法人中部大学 理事長
中部大学 総長
飯吉 厚夫

新監事

東京海上日動火災保険株式会社
名古屋営業第二部 部長
中川 幸生

(敬称略)

第24期 中部大学幸友会事業計画

1. 総会・理事会・評議員会の開催
2. 学術文化興隆のための事業として講演会、研修講座の開催と中部大学公開講座の後援及び中部大学キャンパスコンサートへの協力
3. 学園が行う地域交流を支援、促進するための事業
4. 2013企業ガイド・幸友会就職ナビの作成及び中部大学学内企業説明会協賛
5. 会員相互の親睦と啓発のための事業
6. 産学官連携協力事業
7. 幸友会会報「幸友」の発刊
8. 中部大学主催講演会・講座・研究発表会等の案内及び中部大学定期刊行物等の配布
9. 中部大学開学50周年事業への協力
10. その他(本会の趣旨に即する事業・功績への協力)

第23期 中部大学幸友会事業報告(一部抜粋)

平成23年

- 4月
8日 第74回常任理事会開催(名古屋東急ホテル)
27日 第75回常任理事会、第23期理事会・評議員会、総会、講演会、懇親会開催(名古屋東急ホテル)
- 5月
26～27日 学内企業説明会 協賛(中部大学)
28日 第68回中部大学キャンパスコンサート 後援
- 6月
7日 社会人基礎知識幸友会講座①(中部大学)
21日 社会人基礎知識幸友会講座②(中部大学)
28～29日 学内企業説明会 協賛(中部大学)
- 7月
15日 中部大学幸友会会員名簿発行 全会員に配布
26～27日 学内企業説明会 協賛(中部大学)
27日 第16回企業経営講演会 開催(中部大学名古屋キャンパス)
- 8月
26日 中部大学フェア2011 参加(中部大学)
- 9月
15日 2012企業ガイド・就職ナビ掲載案内発送 幸友会法人会員に案内
17日 中部大学サステナビリティ国際シンポジウム 参加(三浦幸平メモリアルホール)
- 10月
7日 第76回常任理事会 開催(名古屋東急ホテル)
13～14日 学内企業説明会 協賛(中部大学)
25日 第69回中部大学キャンパスコンサート 後援「ジャンルーカ・レイージ ピアノリサイタル」(電気文化会館)
26日 中部大学総合工学研究所講演会 参加(中部大学)

11月

- 3日 中部大学学術シンポジウム 参加(中部大学)
11日 中部大学幸友会会報「幸友」Vol.14会員に配布
15日 中部大学民族資料博物館 2011秋季シルクロード企画 参加(中部大学)
25日 役員研修会(半日)
30日 第17回企業経営講演会 開催(中部大学名古屋キャンパス)
30日 第6回中部大学ライフサイエンスフォーラム参加(三浦幸平メモリアルホール)
- 12月
17日 第8回中部大学音楽祭 後援(名古屋市青少年文化センター アートピアホール)

平成24年

- 1月
20日 2012企業ガイド発刊・就職ナビの開設
- 2月
15～17日 学内企業説明会 協賛(中部大学)
22～24日 学内企業説明会 協賛(中部大学)
29日～3月2日 学内企業説明会 協賛(中部大学)
- 22日 中部大学工学部講演会 参加
24日 中部大学産業経済研究所・野村総合研究所 共催シンポジウム 参加(中部大学名古屋キャンパス)
- 3月
6日 平成23年度中部大学総合工学研究所 研究発表会 参加(中部大学)
9日 中部大学産業経済研究所設立30周年記念 研究発表会 参加(中部大学)

環境エネルギー問題と これからの産業

【講師】中部大学教授(所属/総合工学研究所)

武田 邦彦
たけだ くにひこ



Profile

昭和18年6月3日、東京都生まれ。昭和37年、都立西高等学校卒業。昭和41年、東京大学教養学部基礎科学科卒業。同年旭化成工業(株)に入社。昭和61年、同社ウラン濃縮研究所長。平成5年より芝浦工業大学工学部教授を経て、平成14年より名古屋大学大学院教授、平成19年より現職。

地球は有限。しかし…。

私が大学を卒業して社会に出た1970年頃、テレビなどのメディアは「石油が、あと40年でなくなる」と言っていました。私は物理を勉強していたこともあり、原子力の研究を始めたのですが、次第にこれはおかしいなと思うようになったのです。その頃読んだメドウズの『成長の限界』という本に、「人間には成長の限界がある。なぜなら地球は有限であり、有限の中からどんどん石油や石炭などを汲み出していったら、やがてなくなってしまう」と書かれていました。しかし、原文をよく読んでみると、「いま発見されている油田以外に油田が見つからな

い場合には」という断り書きがあったのです。つまり、地球は有限であり、石油を人間が使うことも事実ですが、もし仮に貯金のように1兆円分の資源があるとすれば、1年に1万円ずつ引き出したとしても1億年分あるという計算になります。

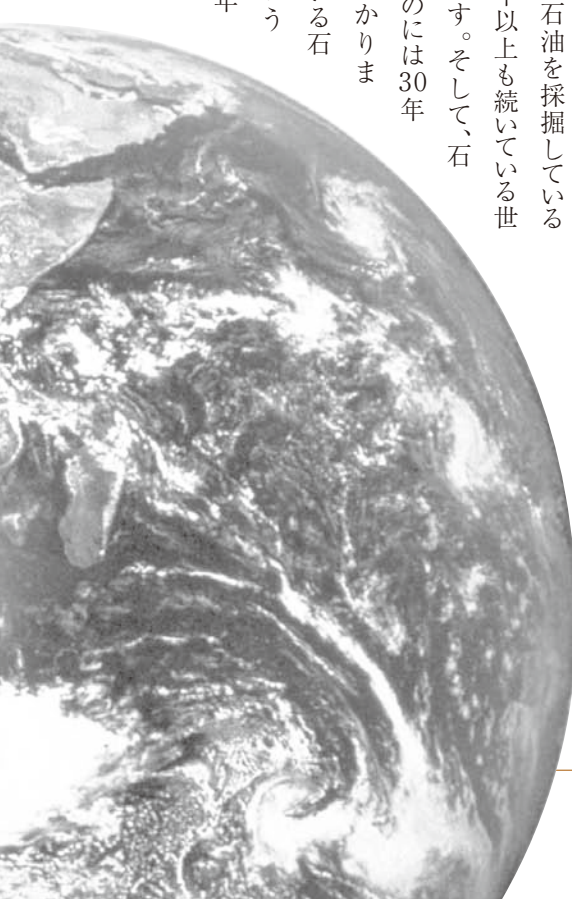
「石油は、あと40年」の真実。

油田の寿命は、いま発見されている油田の容量に対し、今年の石油消費量を割った値。そうして割り出した数字が40になるため、石油の寿命は40年と言われています。ところが、1970年に40を足すと2010

年。すでに石油はなくなっているはずなのに、みなさんはまだクルマに乗っています。一昨年、石油連盟が「石油の寿命は、あと43年」と発表しました。40年でなくなると言っていた寿命が、40年経ったら43年に。今から40年後の2050年になったら、数列からして46年でしょうか。石油を採掘している会社は、100年以上も続いている世界的な大企業です。そして、石油を掘り始めるのには30年

ほどの時間がかかります。発見されている石油が40年分ということは、実質10年しか余裕がありません。10年し

か余裕がなくて、どうして商売ができるのでしょうか。もしも本当に残り40年だとしたら、大きな会社は資金力がありますから、油田を買い漁るはず。それでも40年ということ、石油が眠っているということ、そこにある



石油を掘ってしまったら、石油の寿命が延びるため、ガソリンの価値が下がります。だから掘らないというのは、石油会社の経営者として当然のことだと思います。ですから、当分の間、石油がなくなることはありません。

温暖化は、本当なのか。

地球温暖化を心配している人も、たくさんいます。これは、あくまで個人の考えであることを事前に断った



上でお話しします。CO₂は、太陽の反射光(長波長)を受けることで、振動して温度が上がります。そうすることで空気も暖かくなる、これは間違いないところ。ところが例えば、ある部屋全体が水槽で、その半分が水温30度の水、残り半分が20度の空気だとします。するとどうなるかと言えば、それはほとんど水の温度になります。水の比熱は、空気の3500倍だからです。地球表面の3分の2は海。特に日本は海に囲まれていますから、海

が温まらなければ気温も上がらないのです。さらに、海は冷えやすいため、温まることはありません。太陽が上に来ますと、海の表面が温められて20度や25度になります。冬の間は少し太陽が傾くと、それだけで水温は5度くらい下がってしまいます。上空の宇宙はマイナス55度で、海の下も非常に冷たいため、周りがすべて熱を奪ってしまうのです。また、海には海流も波もありますから、100年かけて1度か2

度温めたとしても、半年で15度も変わってしまいます。ですから、海の温度が変わることはありませぬし、気温が変わることもありません。CO₂は、排出しても大丈夫なのです。温暖化や脱石油の心配はありませんし、今後、無理に節約や節電をする必要はない、と私は考えます。

大切なのは、子どもたちの繁栄。

節約やモットイナイという考えは、個人の人生においては確かに大切なことです。しかし、日本社会において、それは必ずしも適切な判断とはいえません。我々大人にとって最も大切なことは、子どもたちの繁栄です。節約ばかりを続けていては、産業は縮小の一途を辿り、やがて滅びてしまいます。そうならないために科学や工学に取り組み、次世代を築くものを生み出していこうとしているわけです。ですから、50年先の未来に焦点を当て、何に投資をして、他国に対してど

優位を保

ちながら成長していくべきかを考えていく必要があると思います。そのためには、常に子どもを元気づけてやらなければなりません。いま多くの大人が子どもたちに言っているのは、将来に対する不安ばかり。そうではなく、「君たちの将来は明るいんだ」と言い続けることが大切です。そうすることで初めて、子どもたちは未来に向けて頑張ることが出来ます。1990年のバブル崩壊以降、日本人は行き先を見失っていました。しかし、東日本大震災や原発事故があって、もう一度ここで「自分たちの国を守るんだ」という基本的な考えに立ち返れば、この国には、まだまだ見込みがあるはずだ。

幸友会会員企業から中部大学生へのメッセージ

幸友会講座ダイジェスト

社会に出て働くことを中心に自分の生き方を考え、
社会人としての基礎知識力を身につけることを目的にしたキャリア教育科目「社会人基礎知識」。
今回も、その科目の一環として「幸友会講座」が開講され、
幸友会会員企業の方を講師として招いた授業に、
多くの中部大生が耳を傾けました。

※講師の所属・役職は講演当時のものです。

2012年6月19日(火)・26日(火)開催
[キャリア教育科目・社会人基礎知識]

演題:先輩からのメッセージ②

講師

いしかわ ふみのぶ
石川 文信氏

リンナイ株式会社 大口工場 工場長

2012年5月29日(火)開催
[キャリア教育科目・社会人基礎知識]

演題:先輩からのメッセージ①

講師

よしだ あゆむ
吉田 歩氏

株式会社名古屋三越 外務部法人担当マネジャー

積極的な行動によって、
「人間力」は磨かれる。

私は現在、リンナイの大口工場で工場長を務めていますが、それまでには実に11回もの異動を経験しました。業務の異なるさまざまな職場を渡り歩く中で、今日までやってこられたのは、「人間力」のおかげだと思っています。人間力とは、その人自身が醸し出す、人間としての魅力。内面的な精神力から対人的なコミュニケーション能力、判断力まで、人が生きていくための総合的な力ともいえます。その人間力を向上させるためには、まず自分を見つめ直し、何が足りないか、何をすべきかをよく考えること。そして何より、考えたことを行動に移す積極性が大切です。たとえ失敗したとしても、またやり直せばいいのですから。私も学生時代から、興味のあることには挑戦を繰り返してきましたが、どちらかといえば空回りしてばかりでした(笑)。しかし、それについて後悔はしていませんし、むしろ、いろんな経験をしておいてよかったと思っています。趣味でも学びでも構いません。みなさんも是非、就職活動を始める前に新しいことに挑戦してみてください。その際に、ただやるのではなく、「考えること」と「工夫すること」を添えられると、それはより有意義な経験になると思います。

学生時代に考え、経験したことが、
人生のバックボーンになる。

三越伊勢丹グループでは、お客様視点から、売り場を“お買場”と呼びます。それぞれのお買場でオンリーワンを持つ、つまりほかの百貨店にはない強みを持つことが重要だと考えています。この考えは、学生の皆さんの就職活動にもあてはまるかもしれません。私の場合、学生の間に自分のやりたいことを見つけようと思い、あまり前向きな理由で学部学科を選んでいませんでした。しかし、さまざまな経験から4年間で自分の考え方は変わっていくものです。それを早く固めれば、自分の方向性が早く決まっていきます。いま学生の皆さんにできることは、自分はどうあるべきか、自分は何者なのか、強みは何か、何になりたいのかを、今のうちに真剣に考えておくこと。それが人生のバックボーンになります。また、その強みを伸ばしていく人が、社会にも必要とされる人間になれると思います。いい書物を読んだり、映画を見たり、さまざまな体験によって、自分の経験値を増やしてください。また仕事をしていく上で、人に与える印象はある程度コントロールできます。服装、態度、話し方や聞き方の工夫など、さまざまな心理的な手法を身につけておくと、社会できっと役立つはずです。

MOT型MBA

中部大学ビジネススクール(MBA)は、「新事業の開拓」や「事業の革新」を志すビジネスリーダーが実践的経営学を学ぶ社会人大学院です。豊富な実践経験を持つ教授を多数揃え、在学中はもとより、修了後も「生涯学習」をしっかり支援します。



MBAが育成するビジネスリーダー



修了生からのメッセージ



MBAの勉学を通じて、現代社会のスピードと情報の渦に流されない自分形成ができました。

はやし りつゆき
林立之さん 立風製陶(株) 代表取締役社長



MBAで身につけた将来ビジョンを構想し事業計画を組み上げる知恵、日々実践しています。

おくむら こうすけ
奥村 康祐さん (有)奥村工業所(株)メタルソリッド 代表取締役社長



変化の激しい経営環境のなかで行動する経営者に求められる広い視野で考える力を得ました。

きたがわ せいじ
北川 誠治さん (株)キタガワ工芸 代表取締役社長



クラスで学んだ知識、学友たちから得た知恵、修了後も続く先生方の指導、MBAの収穫は大きい。

やばし ひであき
矢橋 英明さん 南通関ヶ原有限公司 総経理



26年間技術畑一筋でしたが、MBA修了後は技術を活かす経営戦略を立案しています。

こんどう まこと
近藤 真人さん マスプロ電工(株) 経営企画室長



修了して始めた中華料理店はスタートから大繁盛、いま次の展開を考えています。

おう か
王 曄さん 中華料理店「萬来館」社長

中部大学MBAは修了後も生涯学習を応援・支援します。

[在学中] 働きながらMBA

実践的経営学の基本修得

同じ立場で学んだ仲間「同窓会」

教員との深い交流

具体的経営課題の解決

[卒業後] 生涯学習+生涯支援

フォローアッププログラム

卒業生聴講制度

生涯の相互支援

いつでも相談

生涯成長
+
事業発展

メンバーズサロン

Member's Saloon



幸友会会員企業の皆様から寄せられた
投稿をご紹介します「メンバーズサロン」。
今回は、まちづくりに対する情熱、
地元への貢献を目指した事業への想い、
友への感謝を綴った3編をお届けします。
行間に漂う、素顔の魅力をご堪能ください。

投稿募集

メンバーズサロンでは、会員の皆様からの原稿を募集
しています。テーマは自由です。日頃思っていることや
趣味のこと、昔の思い出話や体験談、エッセイや人生
訓など、短文でも構いません。文字数は600字程度
で、タイトルをつけてお寄せください。また、本文に関す
るお写真等がございましたら、一緒に幸友会事務局ま
でお送りください。ご応募をお待ちしております。

あま市は、平成22年3月に七宝
町・美和町・甚目寺町の合併により
誕生いたしました。当市は、愛知県
の西部に位置し、隣接する名古屋
市のベッドタウンとして都市化が進
む一方、田園風景も広がる緑豊かな
まちです。全国的にも有名な七宝
焼の産地であり、甚目寺観音などの
神社や史跡も市内に数多くあり、
また、蜂須賀小六、福島正則など多
くの戦国武将を輩出した歴史のま
ちでもあります。

初代あま市長に就任し約2年
半が経過しましたが、旧3町の歴
史・文化資源を最大限に活かしま
がら、市民の方々のパートナー
シップにより、「生涯住み続けたい
まちあま」の実現に果敢に取り
組んでいるところです。

生涯住み続けたいまち”あま”

あま市長

村上 浩司
むらかみ こうじ

テーマを決め、取り組んでおりま
す。昨年は「二燈照隅」、今年は「流
汗悟道」としました。「二燈照隅」
は、自分が今置かれた立場で、精一杯
努力し光輝くという意味です。「流
汗悟道」は、精一杯努力し、流した汗
が飛躍へとつながり、その道を悟る
ことが出来るというものでありま
す。それぞれの立場で自分のやるべ
きことをしっかり理解し、汗を流し
て頑張れば、必ず道は開けるものだ
と思います。

少子高齢社会や災害対策などさ
まざまな課題がある中、今、いかに
まちづくりするかが将来を左右し
ます。精一杯努力し、汗を流して、市
民の皆さん、次代を担う子どもたち
のために全力でまちづくりに取り
組んでまいります。

中部地域の明るい未来へ

財団法人中部生産性本部 専務理事

羽根 博巳 はね ひろみ

中部生産性本部は、中部地域の労働者の三者の皆様のご支援、ご参加をいただき、幅広い生産性の視点から企業の成長、現場（職場）の活力向上に向けた諸活動を60年近くに亘り展開している団体です。

現在、日本の経済社会は多くの課題に直面しており、企業をはじめとしてあらゆる層が変革を実践し、新たな価値創造に取り組むことが重要であります。

そうした中、当本部では三者構成の強みを活かしながら、地域の活性化に資するべく各種事業活動を展開しており、それら事業の一つに「経営品質向上活動」があります。「経営品質」という言葉は少し耳慣れないですが、簡単に言いますと製品やサービスの質だけでなく、企業の経営そのものの質を高めていくとい

う活動であります。

経営の質を高めるとは、リーダーシップや人材育成、戦略や情報マネジメントなどすべてのプロセスが「顧客の創造」といった目的に対し、適切かつ効果的かどうかを常に検証し、組織全体で絶えず革新を行なっていくとするものです。

今後、企業がグローバル競争の中で勝ち残るためには製品・サービスの質だけではなく、経営の質を高めていくことで競争優位を確立する。これは簡単なことではありませんが、一朝一夕にできないからこそ、他が真似できない競争優位が生まれると思います。中部生産性本部では、経営品質活動をはじめ数多くの事業活動を通じて、中部地域の未来づくりのために貢献していきたいと考えております。

友六章

「友」六章

- 1 友がある事は人生を豊かにしてくれるだけでなく、困難の時に心の支えになってくれる。
- 2 友は第3の親族、親、兄弟に次ぐ味方である。（時には親族以上の力にもなってくれる。）
- 3 友の素晴らしい事は、神に代わって忠告をしてくれる事である。
- 4 友のない人生は孤独で寂しい。
- 5 友を作る事に苦心する事はない。縁を大切に心があればきっかけはいくらでもある。
- 6 一献傾けて友と語る。これに勝る心の癒しはない。

玉川エンジニアリング株式会社 代表取締役

吉田 登彦 よしだ たかひこ

私程に先輩、友人に恵まれた人間はいないかもしれないと思う事があります。元来、ひ弱な体格、引込思案の性格の私が思いもよらぬ会社経営の道に入り、現在あるのは人生の節目節目で友の誠意ある助言や心底からの協力のお陰だと思っております。

昭和29～42年の13年間、私は三菱重工名古屋航空機製作所に勤務、ジェット戦闘機のフライトコントローラーの生産技術者として多くの技術を体験させて戴くと共に、人間関係の大切さを教わりました。

同期入社の人友人S君が資材部門に居て私の父が町工場をやっている事を知り、もし吉田君が後を継いだら仕事はいくらでも出してやるよと冗談半分で洩らした事が偶然にも父の耳に入り、父は千載一遇のチャンスとばかりに毎晩私に退職を迫りました。先輩

や恩師に相談しても三菱を辞めるなんて勿体ないとの返答でした。ところが、定時制大学時代の友人にY君をはじめとして鉄工所の後継がかなり居て「手伝ってあげる」「機械も貸してあげる」と応援団が出来てしまいました。そのお陰で決心が付き、二年の引継ぎ期間を経て退社させて戴きました。又、三菱の同期入社の人K氏は三菱を定年退職後入社してくれ、その後20年間コンビニで経営を続けています。

私はこの様に多くの友人・先輩から支えられて多くの友情を生涯の宝として交流させて戴いております。友情は親子、男女の愛情とは異なる面があり、利害関係を越えた人間だけが有する素晴らしい関係だと思えます。時折、一献傾けては、友と共に語りながら六つの文章にまとめてみました。僭越ですが御披露させて頂きます。

中部大学フェア 2012

—産官学連携・人づくり・ものづくり・ゆめづくり—

2012年8月24日(金)におこなわれた中部大学フェア2012。

8回目となる今回は、内外経済が変化する中で多くの危機に直面している

日本のものづくり産業の新たな可能性をテーマに、シンポジウムを開催。

その後は体育館にて、中部大学と企業、自治体、地域団体の皆様による

知的財産の交流がはかられました。



シンポジウム

テーマ:「地域発! 新産業の創出」

会場:5011講義室(50号館1階)

ロケットの製造技術について

講師 すずき ひろし
鈴木 博氏

三菱重工業株式会社 航空宇宙事業本部 主幹技師



20年以上にわたり、ロケットの製造現場に携わってきた鈴木氏。講演では、ロケットの基本構造の紹介にはじまり、スピードや重量、燃料などをはじめとしたデータを私たちに馴染みの深い航空機や自動車などと比較解説。また部品加工から組立、結合に至るまでの製造技術を、会場内に部品サンプルを回覧しながら説明しました。さらに、品質要求を満たすためにおこなう品質保証や技術試験について触れ、宇宙機器の製造においては信頼性の確保が最も重要であることを強調。お話の最後には、今後の国内宇宙事業の方向性についても言及しました。「まずは何とんでも打ち上げの成功を継続させることで、信頼性を高めていくことが大事」と述べ、その上で打ち上げ能力の向上や費用削減によってユーザー利便性を高め、政府系および商業ミッションの受注を確保すること、さらに官民連携でインフラ全体を海外にパッケージ展開し、事業規模を拡大させていきたいと語りました。

中小企業政策の新展開について

講師 かとう よういち
加藤 洋一氏

中小企業庁 事業環境部長(元経済産業省中部経済産業局長)



2012年7月31日に閣議決定された“日本再生戦略”。その中の大きな柱として、中小企業振興に関する施策が位置づけられています。1989年に開業率と廃業率が逆転して以降、特に目立った新産業が育っていない状況を打破するため、日本全体の産業構造転換、また企業の置かれているポジション、さらにはグローバルな変化を受け止めた上で、中小企業施策自身も基本法に立ち入って見直していく必要があると語った加藤氏。とりわけ、国際展開を大きな政策の柱にする重要性を指摘しました。「基本的にこれまでの中小企業施策は内向きな対応だったのですが、これからは当然、国内外をシームレスに捉えなければなりません。国内中小企業の発展のためには、成長著しいアジアをはじめとする海外市場の獲得が急務の課題であり、それは国内雇用を維持するためにも必要です」と述べ、資金調達や情報、マーケティングなど、海外展開に関するさまざまな支援を紹介しました。

ミニ講演会

会場:体育館

人文学部

地域史研究と町づくり・観光・産業

戦前から「郷土史」→「地方史」→「地域史」とその名を変えながら進化してきた地域史研究。そうした研究の成果を現在の町づくり・観光・産業の活動と連携することで、活用していくべきであると指摘した水野准教授。地域史研究がどのようにおこなわれてきたか、自治体史編纂の状況を紹介し、実際に研究の成果を上手に活用している自治体の活動例を挙げながら、新たな町づくりの可能性について言及しました。

講師:水野 智之 歴史地理学科 准教授



現代教育学部

自ら学ぶ能力を育てる教育技術

子どもが主体的に学習に取り組むことができるように導くためには、どのようにアプローチすればよいのかについて解説。

講師:深谷 圭助 児童教育学科 准教授

応用生物学部

花による環境美化・浄化

「フラワーレメディエーション(美しい花を楽しみながら環境汚染を浄化する)」に適した植物の探索と作出の可能性について解説。

講師:山木 昭平 環境生物科学科 教授

経営情報学部

企業が求める「あてになる人間」

社会で役立つ人材を育て、貢献できるよう、社会が求める人材育成について「あてになる人間かどうか」をキーワードに考察。

講師:多田 利行 経営学科 教授

生命健康科学部

ワクチンの功罪を考える

ワクチンは感染症を予防する重要な武器であるが、副作用のないワクチンもない。そのワクチンの功罪を参加者と一緒に考察。

講師:伊藤 康彦 生命医科学科 教授

国際関係学部

ソーシャルビジネス、CSRと市民社会

近年、注目を集めるソーシャルビジネス。その可能性について、企業のCSRやNGO・NPOとの関係を踏まえつつ解説。

講師:野田 真里 国際関係学科 准教授

工学部

サルの神経科学実験から生まれた居眠り運転防止技術

我が国における自動車事故原因のワースト1である居眠り運転。各メディアでも紹介された居眠り運転防止技術を紹介。

講師:平田 豊 情報工学科 教授

セッション

ブース形式による研究シーズ紹介

中部大学全学部の研究者の技術シーズを、ブース形式で紹介。各ブースで熱心に話を聞き入る姿が見られました。

会場:体育館

健康相談コーナー

生命健康科学部が、皆様の健康に関するご相談に応じました。

会場:体育館

栄養相談コーナー

応用生物学部食品栄養科学科管理栄養科学専攻が、簡単な食生活チェックにより、バランスのとれた食事のとり方や食事療法について栄養相談を承りました。

会場:体育館

技術相談、知的財産相談コーナー

中部大学専属のコーディネーター7名を会場に配置し、企業様からのご相談を承りました。

会場:体育館

交流コーナー

ご来場の皆様と中部大学の研究者とが、自由に意見交換をおこないました。

会場:体育館

高校生理科分野の自由研究発表会

参加した高校生たちが、企業関係者や大学関係者に向けて、研究発表・プレゼンテーションをおこないました。

会場:体育館

「超伝導実験施設」見学会

キャンパス内に設けた直流超伝導ケーブル試験装置を、超伝導直流送電実現のための取り組み紹介と併せて解説しました。

会場:藤原洋記念 超伝導・持続可能エネルギー研究センター



Event Information

イベントのご案内

中部大学民族資料博物館 秋季展示

日時 2012年9月25日(火)～12月14日(金)

会場 中部大学民族資料博物館 多目的室

【無料／事前申込不要】

トルコ・イスタンブールにあるトプカプ宮殿秘蔵の画帳を、1970年代に日本人研究者たちが調査した写真記録を紹介し、シルクロードにおけるアジア・ヨーロッパの美術工芸品にみる文化交流の様子を初公開の作品写真、約50点をもとにさぐります。



■お問い合わせ

中部大学民族資料博物館
開館時間／平日9時30分～16時30分
TEL.0568-51-9193(直通)

第19回企業経営講演会

日時 2012年11月14日(水)PM5:00～

会場 中部大学名古屋キャンパス

講師 宮本 順一氏(中部大学特命教授)

演題 「内側から眺めたサムスン半導体」

宮本氏は2009年より2年4か月、サムスン電子のメモリ事業部フラッシュ開発室に在籍し、半導体開発現場を見つめてきました。元々勤務してきた東芝と、韓国の会社を代表するサムスン電子との間にある、人事諸制度、会社組織、会社文化、開発手法、社員の意識、グローバル化等に対する考え方の差異を通し、日本と韓国それぞれの会社の強みと課題について語ります。



企業経営講演会の様子。

学内企業説明会

日時 2月12日(火)～14日(木) ▶ 体育館
2月18日(月)～20日(水) ▶ 三浦幸平メモリアルホール
2月25日(月)～27日(水) ▶ 三浦幸平メモリアルホール



各企業の皆様には、毎年多くのご参加および求人をお寄せいただき大変ありがとうございます。来年度に卒業予定の現3年生を対象とした「学内企業説明会」を今年度も開催いたします。

■お問い合わせ

中部大学キャリアセンター TEL.0568-51-4184

第9回中部大学音楽祭

日時 2012年12月1日(土)PM3:00開演(PM2:15開場)

会場 しらかわホール

入場料 無料(入場をご希望の方は整理券が必要です)

中部大学の5つの音楽系サークルが、日々の練習の成果を披露する年に一度の音楽の祭典。今回は、非常勤講師として学生に指導をいただいている、ピアニストの山本馨栄子さんと熊代治子さんのピアノデュオ演奏も予定しています。ぜひご期待ください。



第8回中部大学音楽祭の様子。

■お問い合わせ

中部大学 渉外部 TEL.0568-51-5250

”中部大学が スマート エコキャンパス “に。

2012年7月2日より、キャンパススマートグリッドを導入し、学部単位による多棟間エネルギーマネジメントを清水建設と共同実証。キャンパスのエネルギーの削減、電力インフラ容量の逼迫に対処するピーク電力量の削減、また学生の環境に対する意識の啓発や教育、エネルギーのスマート利用に関する研究などを目的に、中部大学は”スマートエコキャンパス“として新たなスタートを切りました。今後は学部ごとに展開し、将来的にはキャンパス全体のエネルギーマネジメントをおこなう予定です。学部を街区、キャンパスを都市と見立てることで、日本初のスマートコミュニティ実証モデルを目指します。

※スマートグリッドとは：電力の供給と需要を把握し、最適化を図るシステム。

キャンパス内の環境関連の主な取り組み(抜粋)

本学では、環境保全のために先進システムを積極的に導入し、さまざまな取り組みをおこなっています。



太陽熱温水器



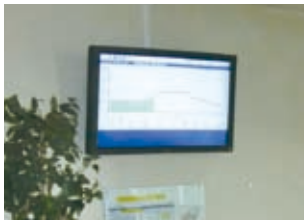
6号館/太陽光発電



雨水散水設備



超伝送電実験設備



電力見える化モニター



総合情報センター/外壁緑化

学生は、学内ホームページでリアルタイムの電力使用量を確認できる。





天井の幾何学模様が美しい22号館・経営情報学部講義室。傾斜を活かした造りと扇形の形状が評価され、1987年度に第19回中部建築賞を受賞しました。

幸友会に関するお問い合わせ一覧

(会員数) 法人会員739人 個人会員452人
(平成24年10月15日現在)

○ご入会手続き	▶ 幸友会事務局	0568-51-4740(直通)
○求人に関するご相談	▶ キャリアセンター	0568-51-4184(直通)
○共同研究に関するご相談	▶ 研究支援センター	0568-51-4852(直通)
○オープンカレッジ・公開講座	▶ エクステンションセンター	0568-51-4392(直通)
○大学院・大学入試情報	▶ 広報部	☎ 0120-873941
○中部大学音楽祭・キャンパスコンサート	▶ 渉外部渉外課	0568-51-5250(直通)

本誌に関するご感想や、幸友会に対するご意見やご希望、ご質問などは、下記のE-mailへお気軽にお寄せください。なおバックナンバーをご希望の方はお問い合わせください。

発行 平成24年10月31日

編集 中部大学幸友会

住所 〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地 中部大学渉外部内

TEL.(0568)51-4740〔直通〕 FAX.(0568)51-1186

ホームページ <http://www.chubu.ac.jp/> (「企業の皆様」・「地域の皆様」をクリックしてください)

E-mail kouyukai@office.chubu.ac.jp

本誌「幸友」は、学園創立者である三浦幸平先生の名前にちなんで命名された中部大学幸友会の会報誌です。学術・文化交流を促進する“交友”の意味も込められています。